



亡なり
の
乳王さま
Memories Vol.3



成人向
R18
18歳未満の
購入・閲覧禁止

YO-METUDO
PRESENTS
Fate/SN・FGOFanBook



亡国の
の
乳王さま

Memories Vol.3

となりの の 乳王さま *Memories Vol.3*

■目次

- 1: 『となりの乳王さま・八幕』 6p
- 2: 『となりの乳王さま・九幕』 34p
- 3: 『となりの乳王さま・終幕』 88p
- 4: 『となりの銀河OLさん2nd』 142p
- 5: 『エピローグ』(描き下ろし) 163p



亡なり
の
乳王さま

Memories Vol.3



乳王さまの幕

亡なり



助けないと...

あぐっ



じゃないと
アルトリアが...
アルトリアが...

動いて...
動いてくれ...
助けなきゃ...
助けなきゃ...



嫌だ...ッ！



また...俺の家族が
いなくなるのは
嫌だ...



もうあんな想いを
するのは...



誰だ？

キミに名乗る程の者じゃないよ

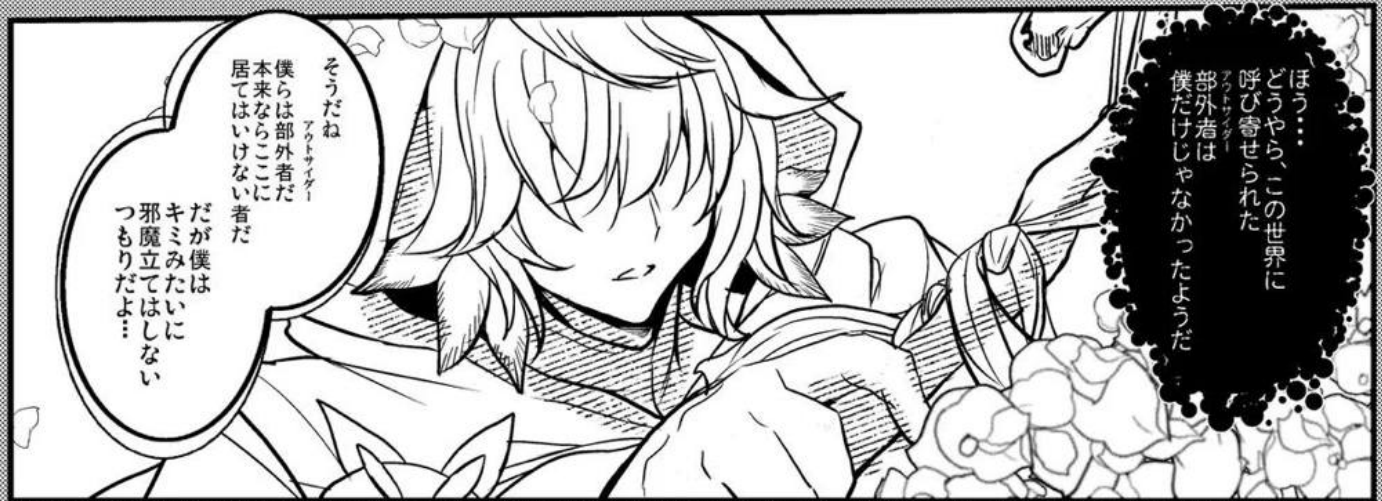
あえて言うなら「花の魔術師」と言ったところさ

彼女達の事を見守って
いたかったけど
そう言ってもらえない
状況らしいね



この花びらは……！

キミは
実に酷い奴だな
二人の間を割って
入ってくるなんて



ほう……
どうやら、この世界に
呼び寄せられた
アクトザン
部外者は
僕だけじゃなかったようだ

そうだね
アクトザン
僕らは部外者だ
本来ならここに
居てはいけない者だ
だが僕は
キミみたいに
邪魔立てはしない
つもりだよ……



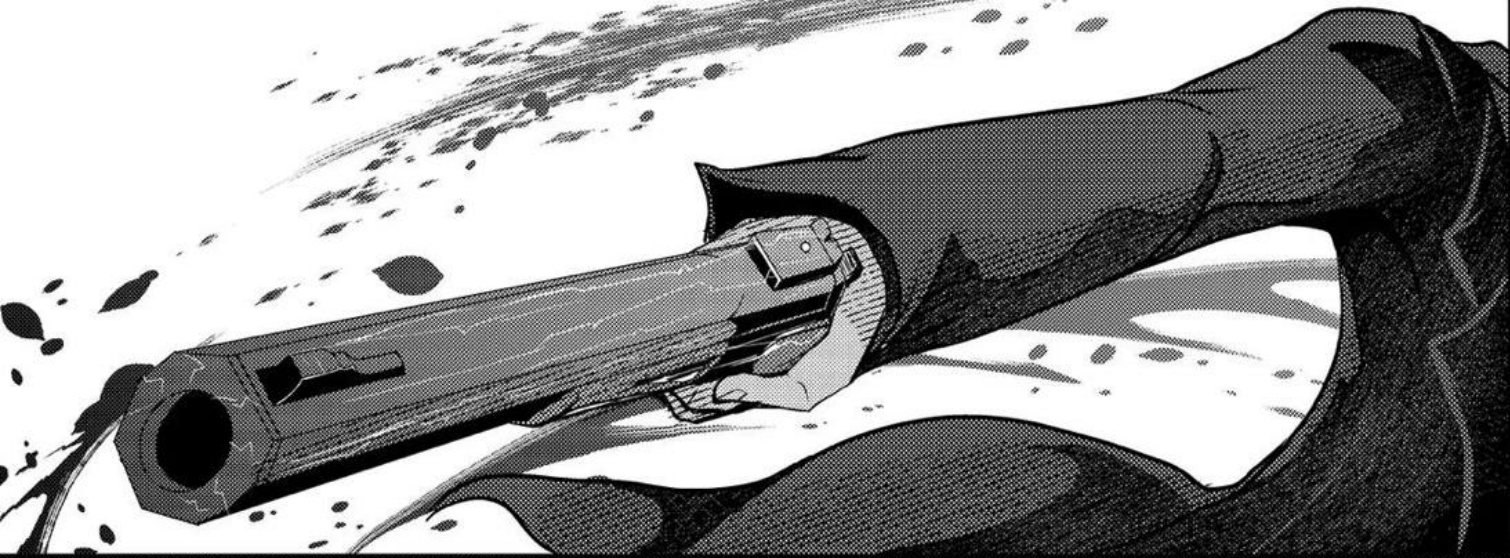
まあ良い
ちようど
僕の方も『時間切れ』だ
少々事を急ぎ過ぎたかも
知れないが

えっ？
この声……
男の人……

でも
どこかで……

士郎に預けてた
聖杯の欠片は
回収出来た

それだけで
充分な成果だ



この世界の
生殺与奪は
僕が握っている事を

僕も君達も
与えられた
時間はあまりない……
だが
覚えておいて
欲しい……

大聖杯空洞で
君達を待つ……





そうですか…
アンリマユは
そんな事を

あまり猶予はない
みたいですね…

アイツは…俺の身体を
『僕の身体に相応しい』
と言ったんだ

俺を殺すわけじゃなくて
あの泥の女性達を使って
聖杯の欠片を
取り出したんだ

異常なまでに
拘っているようだった
アイツは爺さんの…
切嗣の願いを…

牛乳の身体を母に
僕は完全な人間を
切嗣の願いを叶える

爺さんの夢を
あんな歪んだ願いで…
絶対許せない…!!

アイツの企み
絶対に…止めないと!

彼の叶えられなかった
願いを
彼が抱いた子に託し
彼の願いを
再び成実する

それに…俺
託されたんだ

さっきは
助けてくれて
ありがとう

まさか俺の
学校の『理事長』が
魔術師だったなんて…

おれは良いよ
今夜はもう
あの黒いのは
襲っては
来ない筈だからねっ

あの
『理事長』に
アルトリアの事を

それと士郎君…
すまないが彼女に
私の事は
伝えないで欲しい

なんでさ!?!
『理事長』、アンタ
アルトリアの
知り合いなんだろう?

色々事情が
あるのさ

それに、本来
私はここに
『存在』じゃないんだ





昔の…
あの頃？ですか



私は大丈夫ですよ
シロウ
ご心配なく

うん…

こうして
二人で一緒に過ごすの
日々だろ

何か…ふいに
昔のあの頃を
思い出しちゃって



シロウ…私も覚えてます
あの頃は…

色々あって
仲良くなった時
こんな風に
天井みてたな…て



…最初に俺が
アルトリアに対して
ツンツンしてた
あの頃かな



帰ってくれッ！



もう切嗣は
ここにはいないんだ！

アンタが切嗣の
親戚だろうと
知ったことじゃない！

俺の事は
もうそっとして
おいてくれ！



無理もないです…
彼が亡くなって
間もなくでしたし

彼の思い出の地に
私は土足で敷地を
跨いでいたのですから

でも
切嗣を訪ねてきた人を
無下に追い返すのは
出来なかったよ…

切嗣が居たら
そんな事しないって
思えてね

シロウ…

アルトリアは
俺の事
あの頃から
ずっと見守って
たんだよね

はい…
どうしても苦しんでる
貴方を見過ごせません
でしたから…

そんな中
運命の日が
来たんだよね…

シロウツ!!



発作が
収まらない…!?

しかもこの症状は…!!
呪いの類のもの…!!

うぐっ…!!
あぐ…!!



ハア…ハア…



シロウ
切嗣の薬を!
もう
大丈夫ですから

慌てず
ゆっくり
飲んでください

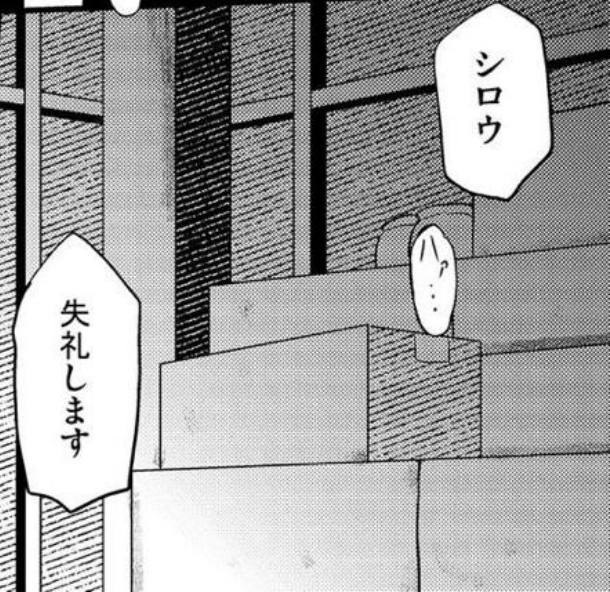


!?



発作が酷い…
このままでは
シロウが…

シロウが…!!



シロウ

失礼します



少しは
楽になる筈です

シロウ:
何も言わず
このまま
私の胸に触れて下さい

な...なんで
急に

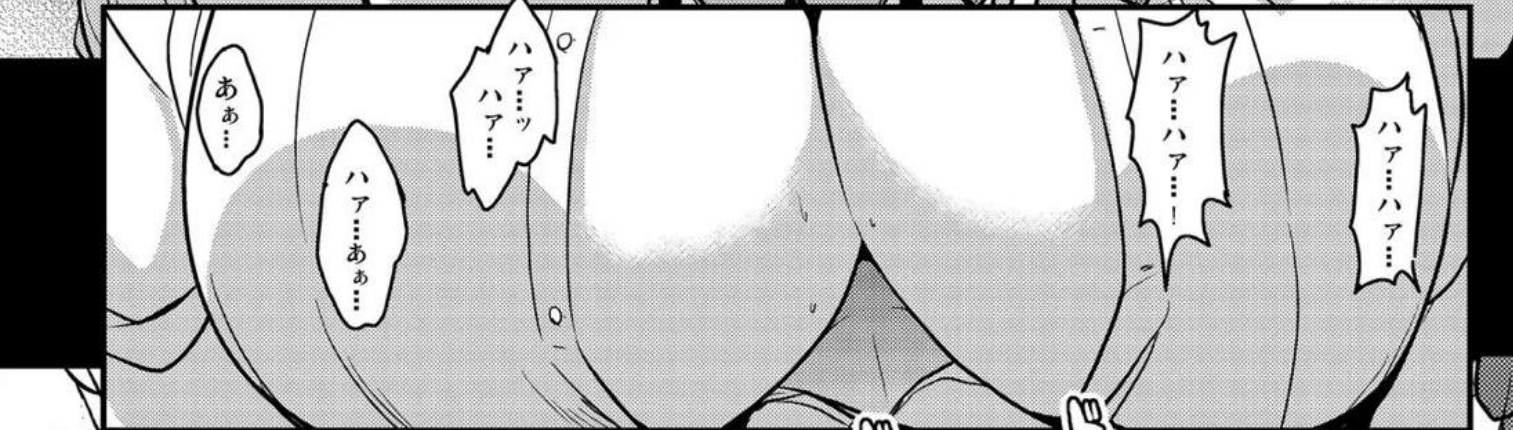
あ...
アルトリア...っ

は...

は...

ハッ...っ!

ハッ...



ああ...

ハア...ああ...

ハア...ッ
ハア...

ハア...ハア...!

ハア...ハア...



シロウ
大丈夫ですか?

アルトリアの胸...
身体が楽に...
心地いい...

ああ...本当だ

ふう...

ふう...

はあ...

んっ...

すう...

すう...

うん...

ああ...
身体の中の
痛みが引いて
安らいでいく...

良かった…
発作も収まった
ようですね

あっ…

ご…ゴメン
アルトリア
もう身体は
大丈夫なんだけど

腰に
シロウのが
押し付けて…

別の方が
苦しくなっ
て切なくな
って…

は、離れなきゃ…！
いつまでも
抱きついちゃ
ってゴメ…

よく
頑張りましたね
シロウ

いいこ
いいこ

んっ！？

良いんですよ
シロウ貴方は
私に甘えてもいいんです

なんでだろう…
凄く心地良い

……
士郎の部屋に
行きましょう

貴方には
今、人の温もりが
必要です

……うん

アルトリアの
おっぱい…
暖かい…
なんて甘い匂い…

ふたりで
俺の部屋に
入る

んっ
♡

俺の部屋に
入った後
アルトリアから
キスをされた

ゆっくり
レクチャーする
大人のキス…

そして食べるような
恋人みたいなキス…

アルトリアの
豊満で柔らかな
大人のおっぱい

シロウ
どうぞ…♡

これが…
アルトリアの
おっぱい…

柔らかで
ふわふわで…
甘い
良い匂い…

あんっ♡
シロウ…♡



顔いっぱい
アルトリアの
おっぱい！

柔らかくて
重くて
なんて幸せな感触

んっ♡
シロウ
いっぱい甘えて

私のおっぱい
吸ってください

人肌って
こんなに
暖かだったんだ



こっちのシロウも
苦しそうですね

外に出して
あげましょうね♡

あうっ！

シロウの
おちんちん
可愛い姿で
昂ぶってますね♡



私にもシロウの
味あわせて
ください♡

んっ♡

んっ♡

お互い舐め合ってるの
なんて凄いい

俺のちんぽが
溶けて何かが
ムズムズするっ



あうっ...
あああっ...

ハア...ハア...

ごめ...ごめん
アルトリア...っ

綺麗な顔を...
汚しちゃった...



でもまだ「汚れ」が
出し切っていないですね

もっと触れ合って
汚れを出しましょう...

これが射精...

シロウ
これが射精と
言うんですよ

良いんですよ
シロウ
それにしても
いっぱい
出ましたね...♡

飲んでる...っ
アルトリアが
俺の白いのを...



暖かくて
柔らかくて
手に吸い付く...

まるでアルトリアと
繋がるのがずっと
待ってたみたいだ
『馴染』んでくる

むにゅ

たふ

ああ
♡
シロウ...
おっぱいに♡

うんっ...
凄く
気持ちいい...

大丈夫...
収まりが
良いというか

俺の中にある
『何か』が体内で
悦んでいる

シロウに
ぎゅってされるの
気持ちいい...♡

んあっ♡

もっと...♡
もっと触れて
くださいっ♡

まるで長年
収められなかった
抜き身の剣を
収めた鞘みたいに...

はあ...
あああ

あ...アルトリア
またきちゃう...!!

はいっ
シロウのおちんちん
腔内で膨らんでるの
伝わります

また射精
するんですね♡

うんっ...!!
また射精ちゃう...!!

アルトリアの
なか...っ
熱く締め付けて
くるっ!!

受け止めます
シロウっ

シロウの
熱いもの
どうぞ
私の腔内につ♡

はああっ♡

ああ...きちゃうっ
またでちゃううっ!!

はあああ♡
あゝあゝ♡
ひゅっ♡
ひゅっ♡

俺の部屋は
柔らかなアルトリアと
交わった体液と
汗の匂いで
いっぱいになった

これが俺が覚えている
アルトリアとの
初体験……

目覚めた後しばらく
恥ずかしくて
たまらなかったけど

あの日から
アルトリアは
俺にとって
大事な家族になったんだ



ありがとう
アルトリア……

あの時の俺を
救ってくれて

シロウ……

アルトリア……



あれ……？
その姿……もしかして

ふふっ……

シロウの思い出を
語ってくれたおかげで
どうやら身体への治癒が
早まったみたいですわっ

アルトリア……

……私が今
ドキドキしてるの
わかりますか？

うんっ……



あの…

あの時
アルトリアが
俺にしてくれた様に

今度は、俺が
アルトリアの為に
頑張るからっ！

いいかな？
アルトリア

はい…っ
シロウ

私も同じ
気持ちです♡

あの…これは私の
我儘な
お願いですが…

何？
アルトリア

うん！
なんでも言うって！

あの…
これから
セックス
魔力供給する時は…

この時は私の事を
“セイバー”と…

はいっ♡
愛称と思って
セイバーと呼んで下さい

シロウにそう
呼んで貰えると
胸が熱くなって
ドキドキするのです♡

セイバー…っ！

セイバー…

はいっ♡

その呼び名…
以前俺が脳裏に
浮かんできた名前…

そんな名前で
呼んで良いの？

ひび
くば
あ♡

はいっ
シロウ♡



ぬちゅ♡

んっ♡

びゅ♡

びゅ♡

ぬちゅ♡

分かりますか
シロウ

私の子宮が
喜んでるのを

ううっ俺の
ちんぽ越しに
凄く伝わってくる……!

あああっ
セイバーっ♡

ぬちゅ♡

たふっ♡

たふっ♡

スッ

スッ

にゅ♡

ああ……シロウ……
嬉しい♡♡

スッ

スッ

セイバー……
締めたいよ……っ!

セイバーのおまんこ
すごい
吸い付いてくる♡

あん♡

んあ♡

あん♡



ああシロウ
思うがままに
おちんちんで
掻き回して♡

もっと
奥まで♡

ううっ...!!
セイバーの腔内...
もうとろとろして
やばっ...熱い...っ

シロウ
気持ちいい♡

ああ...♡
セイバーっ♡
セイバーっ♡♡♡

ああ♡その名前♡
子宮が凄く
きゅんきゅんします♡

もっとセイバーって
呼んでください♡

ああっ♡
シロウのおちんちん
奥まで届いて気持ち
いいです♡



感じますっ♡
シロウのおちんぼ
子宮に♡
んんんっ♡♡

セイバーっ♡
セイバーっ♡

ああ…シロウ
もっと私で
感じてください♡



あっそ…
気持ちいい…♡

シロウ…もっと
突いて…♡
全身で私を感じて
欲しい…♡



出したい…
出したい…っ！
セイバーの膣内で
いっぱい
注ぎたい

ああ…素敵です
シロウ♡
もっと激しくシロウの
全てをくださいっ♡♡

うっっ！
セイバーの
締め付けが
更に！っ！

でるっ！セイバーの
膣内の奥まで
精液だすよ！

射精して♡
全部私にくださいっ♡

シロウが
いっぱい望む分だけ

シロウの精液を
私の霊基の奥底まで
注ぎ込んで
いっぱい
満たして！っ♡♡

あああ♡♡

ん
あああ♡♡

びゅ
びゅ♡♡

びゅ
びゅ♡♡





亡なり

乳王さま九幕



おまえ
聖杯は
在ってはならない
モノだった……

……あなた
何故……ッ

聖杯を……
拒むの……ッ



お前を……
衛宮切嗣……ッ！

世界を……
救う……ッ！

聖杯の呪いで……

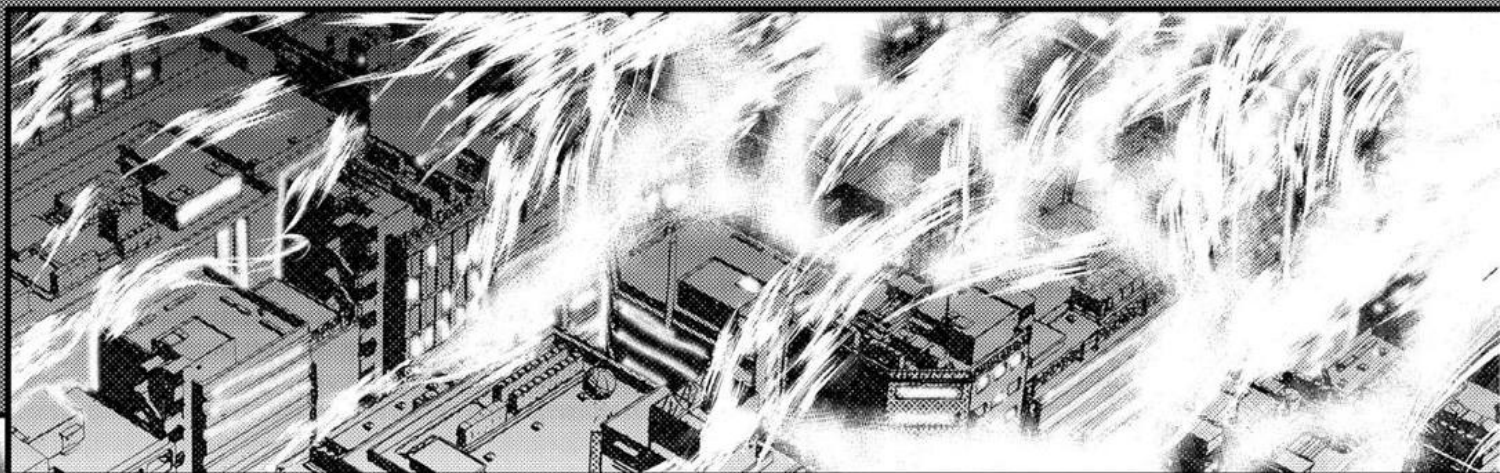
呪い殺して……



……呪ってやる

許さない……
苦しめ……

僕は……
聖杯を殺して



そうあの時の僕は
彼を憎んでいた

何故叶えられそうだった
願いを切り捨てて
無に出来る？



生まれ出たかった聖杯に
初めて似た境遇の
彼を見つけられて

ぼく
聖杯を捧げるに
値する人物だと
思ったのに……



お前は『世界を救う』事を
願いに
ここまで来たのでは
無いのか？

これでは
願いへの
裏切りではないか……！

許さない...許さない！
許サナイ...許サナイッ！
許サナイッ...！！



聖剣の一撃により
聖杯を破壊され
僕は受肉できず
欠片と泥と共に
街中に流れ出た

泥は街中全てを
燃やし憎悪と
共に飲み込んだ
それでも数日経てば
冷え固まり、元に戻るだろう

そして僕の誕生は
次の聖杯戦争まで
待つものだと
そう思っていた

だが僕は
見てしまった
あの光景を



生きてるッ!!

生きてる...

.....
...生きてる



一人だけでも
助けられて...

救われた...

ありがとう
見つけられて
良かった...



なんて...

ああ..
ああ..
ああ..



なんて
美しいんだろう

こんな……
瓦礫の光景に
こんな……



人の負の感情を
受け止めるだけに
生まれた
反英霊の僕が

復讐者の僕が
初めて『綺麗』だと
思った光景……

その瞬間 僕の感情は
「裏返った」

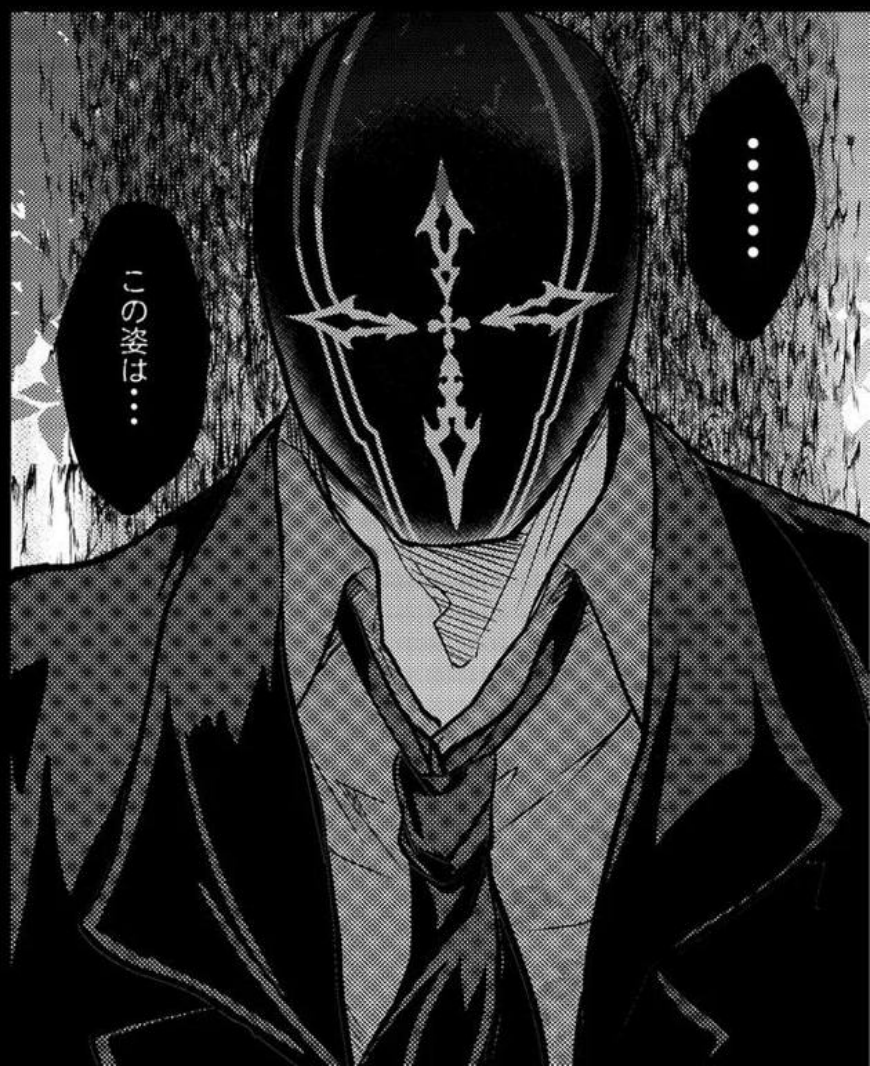
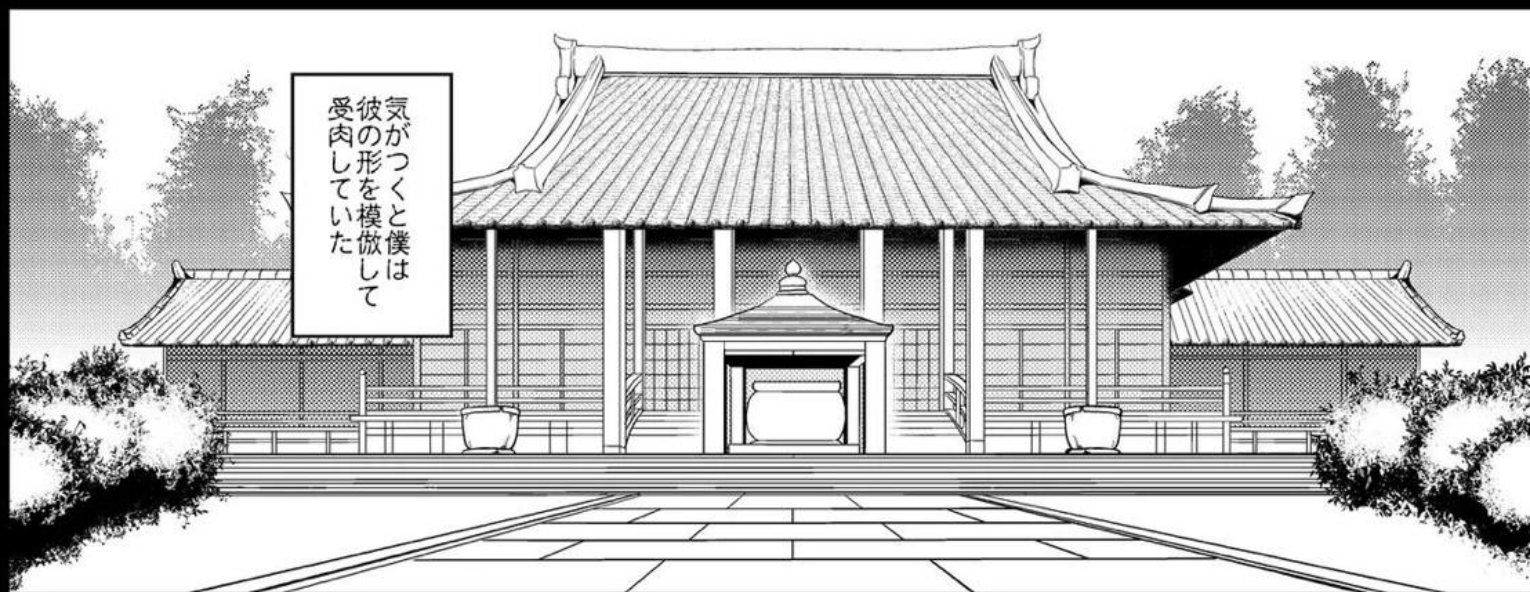


ああ……僕は
彼を
誤解していた

彼は『この瞬間』の為に
これまで戦っていたのか
なんと偉くも尊く
そして美しい願いなんだ……

これが『世界』を
救う事……
素晴らしい……

誰かを思う気持ちは
こんなにも力が
湧いてくる
ものなのか……!!





ハハ……

そうだ
これは切嗣が
僕にくれた贈り物だ

衛宮切嗣
やはりキミこそ
この世の全ての悪を
担うに相応しい

ハハハハ……ッ！

だが、彼はこの先
願いを叶えられなかった事を
きつと後悔し
死ぬ事になるだろう



でも切嗣
安心して欲しい

僕が代わりに『切嗣』となって
彼の残した願いを
叶えよう……



キミは僕にとって
初めての憧れなんだ
憧れた気持ちには
相手を想う
『愛』といってもいい。

キミが救った子供
『士郎』も
その願いの為に
救ってあげよう

だが、この身体で
彼の願いを叶えるにも
まだ不完全……

誰にも悟られず
魔力を補充する必要がある
それに、
聖杯の欠片も必要……

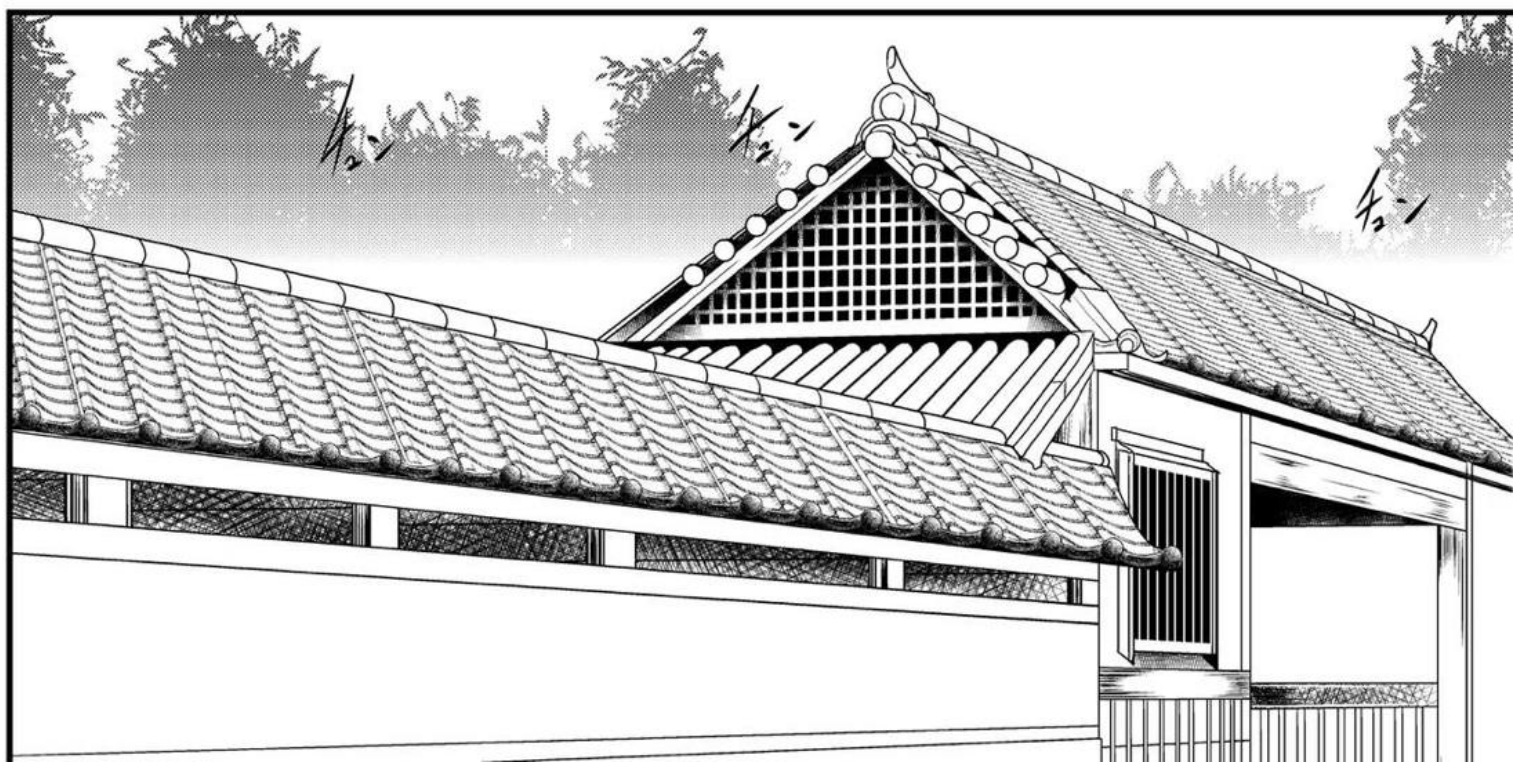
幸い、士郎くんの中に
聖杯の欠片が
あるようだ

誰か
僕の代わりに……
となりに居てくれる
親代わりの者が
必要だ

そうだ……
彼女がいい
彼女は
士郎くんとの
絆が幾多もある

護り手としても
これ以上になく
相應しい……

彼のとなりに
居てくれれば……
後は……





あれ…
もう朝…？

そっか…
俺…あれから
ずっとセイバーと…



あっ…
起きましたか？
おはようございますっ♡
シロウ♡

んあっ
おはよう
セイバー…

魔力の方は
どう？
あれで回復はできた？

はいっ
お陰様で

ですが…欲を言えば
もう少し
魔力が欲しいなって

なのでシロウ
私に目覚めのキスで
魔力を下さい♡

ええっ!!





シロウのおちんぼ
こんなに
大きくなって♡

キスだけでこんなに
興奮してくれたの
ですね

ああ…
セイバー…

それでは
いただきますっ♡

はー♡

はー♡



ま…待って
セイバー！
昨日の汗が
混ざってるから汚な…っ

んっ♡
ろうれふ
ひろうつ…
ひもふいひひ？♡

じゅ♡

あああっ！
啜えたまま
喋らないでっ！

じゅ♡



それでは次に
シロウの大好物の
ぱいずりで

昂ぶってる
シロウのを
挟んであげますねっ♡

ふは♡

たふ♡

あゝあゝ♡

たふ♡



いつもながら
最高としか
ああっ…

セイバーには
感謝しかないよ

ああ…乳内に
包まれる
この感触…

たふ♡

ぎゅむ♡

ずい♡

たふ♡

ありがとう
ございます
シロウ♡

いつも以上に
心を込めて
ずりずりして
あげますからねっ♡

にゅふ♡



ああ…
最高…♡

セイバー♡

むっ♡

んっ♡

シロウのが
私の胸の中で
嬉しそうに
ビンビンしてます♡

にゅ♡

ぬっ♡

私も嬉しくて
胸いっぱい
なっちゃいますね♡

むっ♡

ぬっ♡

あぁっ
あッ!

はぁ…
あああッ!

我慢しないで
いいんですよ
シロウ…♡

ずり♡

どうぞ
私の胸の中で
好きなだけ
どびゅどびゅ
してくださいっ♡

ずり♡

ずり♡





はあ...
はあ...
はあ...

はあ...
はあ...
はあ...

セイバーのお尻...
こんなに
ヒクヒクして...

どうぞ♥
私のココもシロウを
欲しがってます♥

どうかシロウの
チンポでいっぱい
可愛がって下さい♥

せ...
セイバーツ♥♥

んああ♥♥

ぬちゅ♡

ホントに夢のようだよ
セイバーのえっちな
身体をこうし
いっぱい抱けるなんて

遠慮しなくて
良いんですよ
シロウ

私のカラダも心も
シロウのモノ
なのですから♡

それに
もう貴方は私の
マスター
なのですよ♡

すちゅ♡
すちゅ♡
すちゅ♡

マスター……
う……うんっ！
セイバーの為に
頑張る……！

ぬちゅ♡

すちゅ♡

すちゅ♡

ズン

そうです♡
子宮にもシロウが
マスターだと
教えてあげてください

貴方のザーメンで
いっぱいにして……
そう♡いっぱい
ちんぽで打ち付けて
マーキングして♡

ズン

ズン



ああ...じょうず♡
シロウ...
そう...奥に♡

そう♡シロウ♡
もっと深いところに
パンパンついて♡

私も
イキそうですっ♡

シロウの魔力汁
注ぎ込んで
くださいっ♡

あっ♡

はいっ♡
どうぞそのまま
膣内に♡

セイバーっ!!
またイクっ!!
俺もまた!!
射精るっ!!



あああッ♡

また
射精るっ！

んはあッ♡



す…凄く
気持ち良かったよ
セイバー
でも今日は
何だか…
もっと抱いていたい
気分なんだ…

はいっ私もです
シロウ♡

ふたりで
少し横に
なりましょうか

どろっ♡
どろっ♡







あっシロウ♡
いいです♡
もっとおちんぼを♡

あなたのしるしを
私に流し込んで
ください♡

うん! いっぱい
流し込むよ!

俺の精液
全部
受け入れて欲しい...っ
俺の...セイバー♡



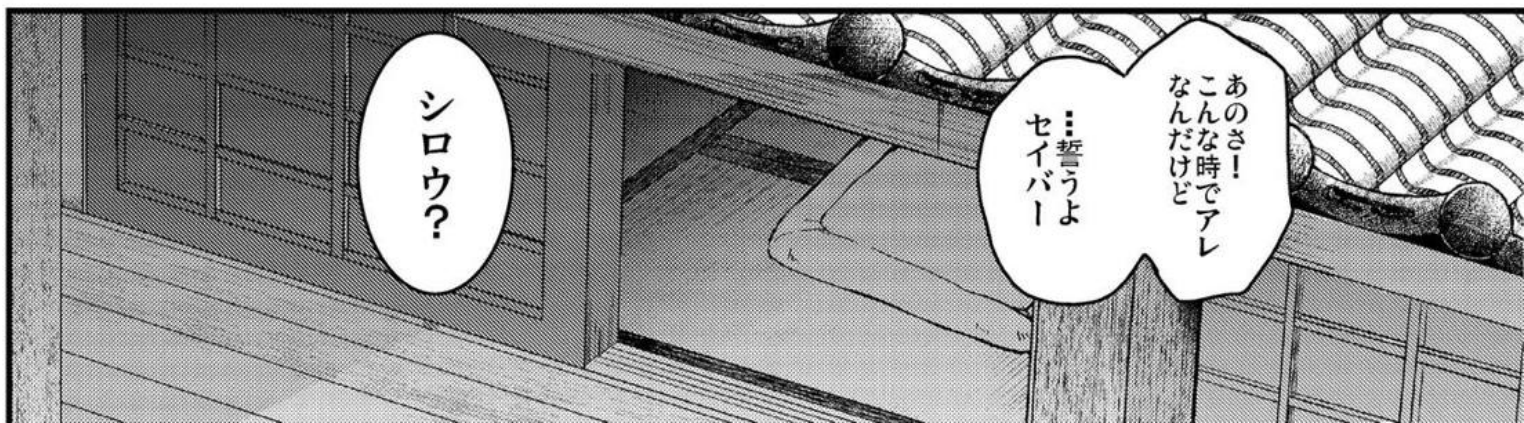
はいっ♡
貴方の
セイバーですっ♡

この子宮で♡
膈内で
受け止めます♡

大好きですっ♡
シロウ♡

俺も大好きだ!
セイバーっ!!

んあああ♡♡♡





こんな未熟な
マスターだけど

まだまだ半人前の
魔術師の
つもりだけど

...えっと...

シロウ...

どうぞ
続けてください♡

この身
俺の運命...
セイバーに全て託す

最後まで
一緒にいよう
セイバー

そして
またこの一夜を
過ごそう

はいっ...
誓います

貴方と私は
剣と鞘

もはや
運命共同体です
死がふたりを
別つまで

貴方を守る為なら
如何なる
脅威を払い除ける
星の剣となりましょう

ああっ♡

この身の
全てを貴方に
捧げます

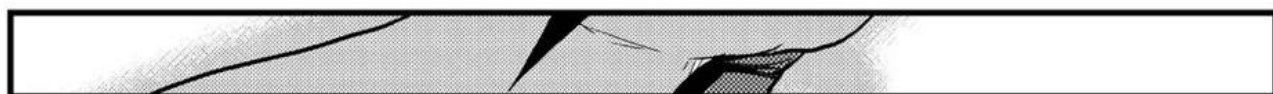
だから...
きてっ♡

シロウ...
私のマスター♡

セイバー！
好きだあーっ！

んはあ♡
ああ...♡

シロウ♡
わたしもです♡♡♡
どうか一緒に♡♡♡





うん わかっている
無い物ねだりになって
ゴメン…セイバー

聖槍がなくても
貴方の鞘と
絆があれば
どんな敵だって…!!

いいえっ!
そんな事はないです!
シロウ!



俺が生まれつきの
魔術師だったから…

もっと
セイバーの力に



でも現状アイツに
勝てる
打開策は
まだない…
「武器」が足りないんだ

グッ

爺さん…
俺…今こそ誰かの為に
力になりたいって
思ったことはないよ…

俺にしか
出来ない力が…
何か…



えっ?

貴方の机の中から
光が…!!

し…
シロウ!



ハッ…
これは…!?

花びらが…
光って…!!



えっ…
何…



このアルトリアから
来る魔力量…。

正式なマスターに
成れたんだね。

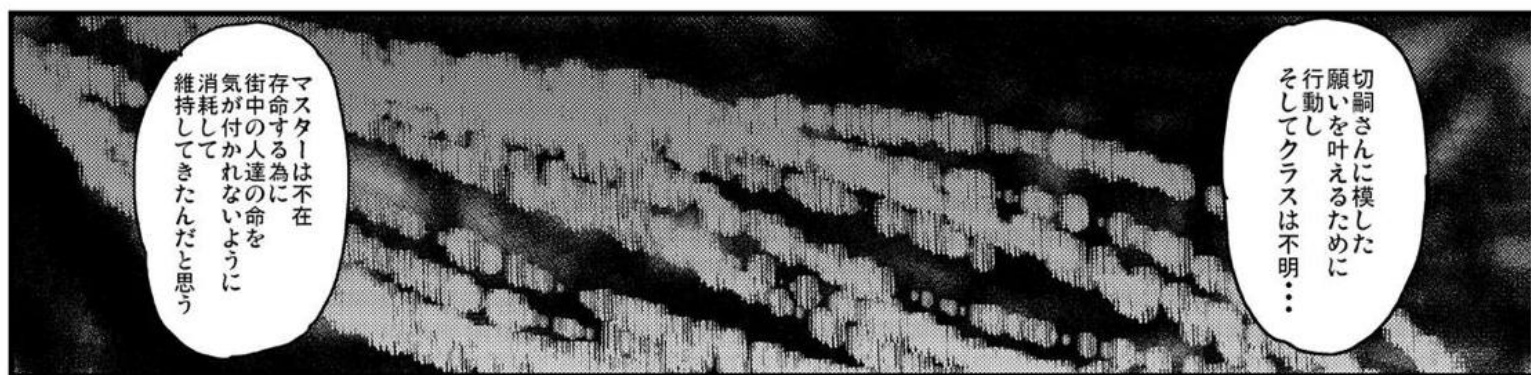
衛宮士郎くん



うん
これで戦える

アイツを
アンリマユを
止められる！







私の愛馬
ドゥン・スタリオン
です

これで天を駆けて
目的地へ
行きましょう



さあ
シロウ
こちらへ乗って下さい

ゴメンね…
士郎くん
こんな形で
付合わせてしまって

うんっ！

君にとって
あまりに荷が重すぎる
出来事が
起こってしまった



良いよ別に
構わないさ

これはいずれ来る
俺の立ち向かうべき
運命だったんだと思う



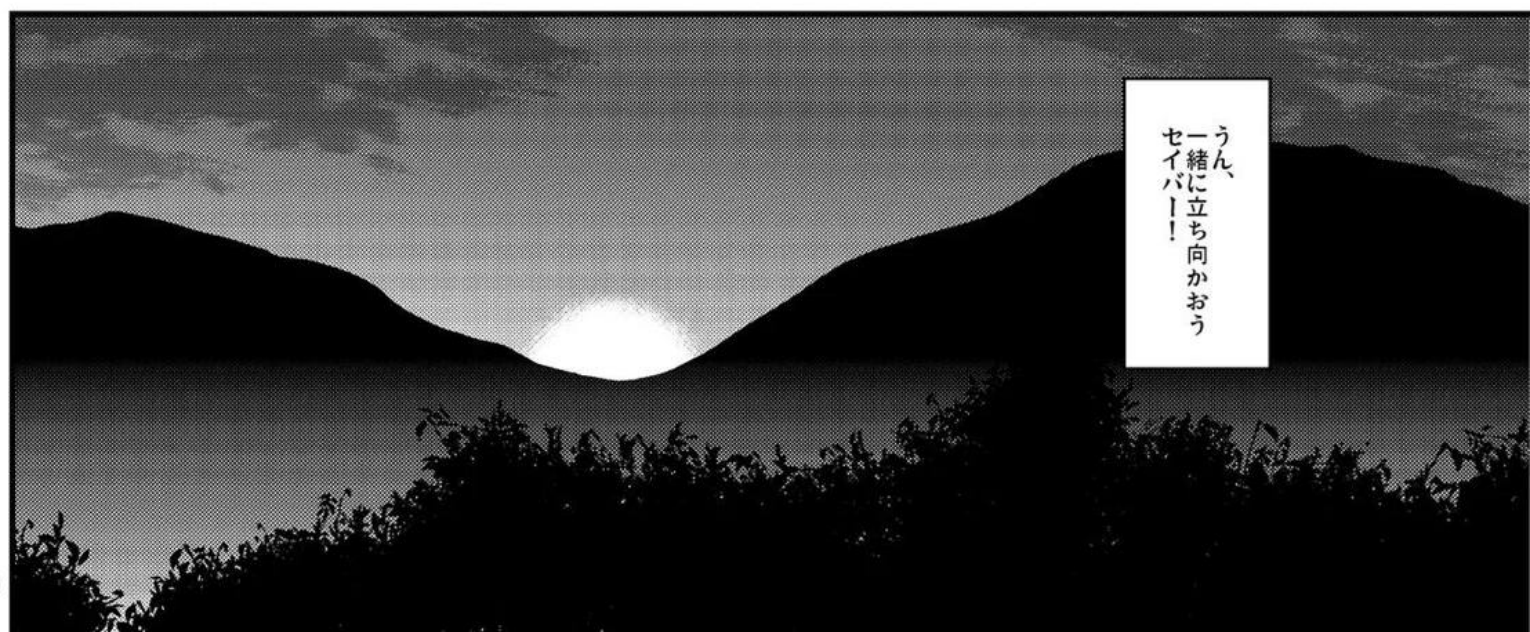
まだ投影魔術も
不完全な未熟な
魔術師だけど
きっと出来ることは
あると思うんだ

だから、
今の俺が
出来ることを
全力でやり遂げるよ。

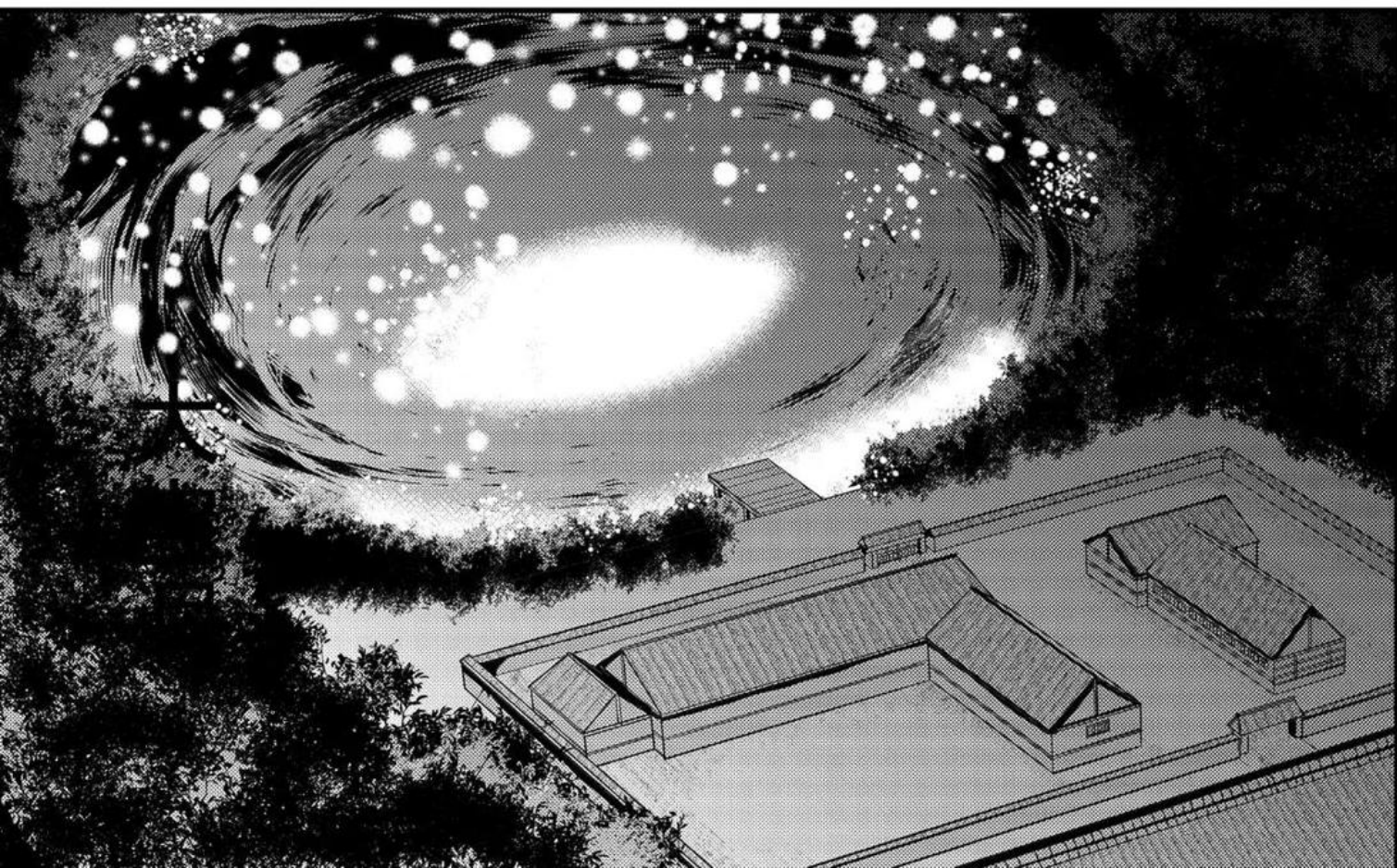
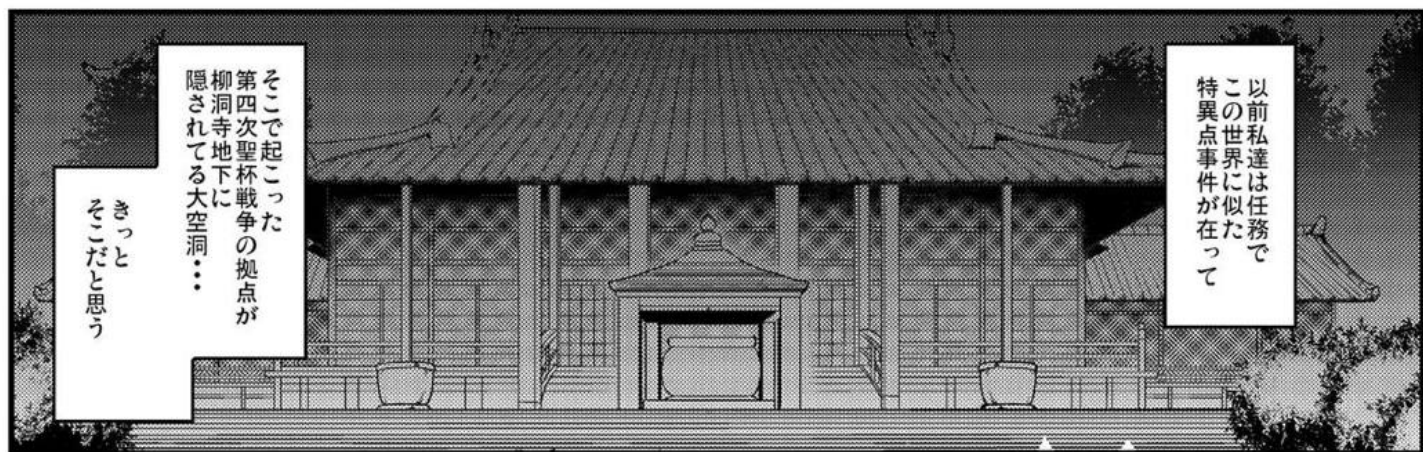


そうですシロウ
今の貴方は
私の正式なマスターです
自信を
持ってください

貴方の身は
私の命に変えてでも
必ずお守りします。



うん、
一緒に立ち向かおう
セイバー！









シロウ!
大丈夫ですか!

せ:
セイバー!

すみません
不覚を
取りました!

ですが
このまま大空洞まで
触手もろとも
突っ切り
押し通します!

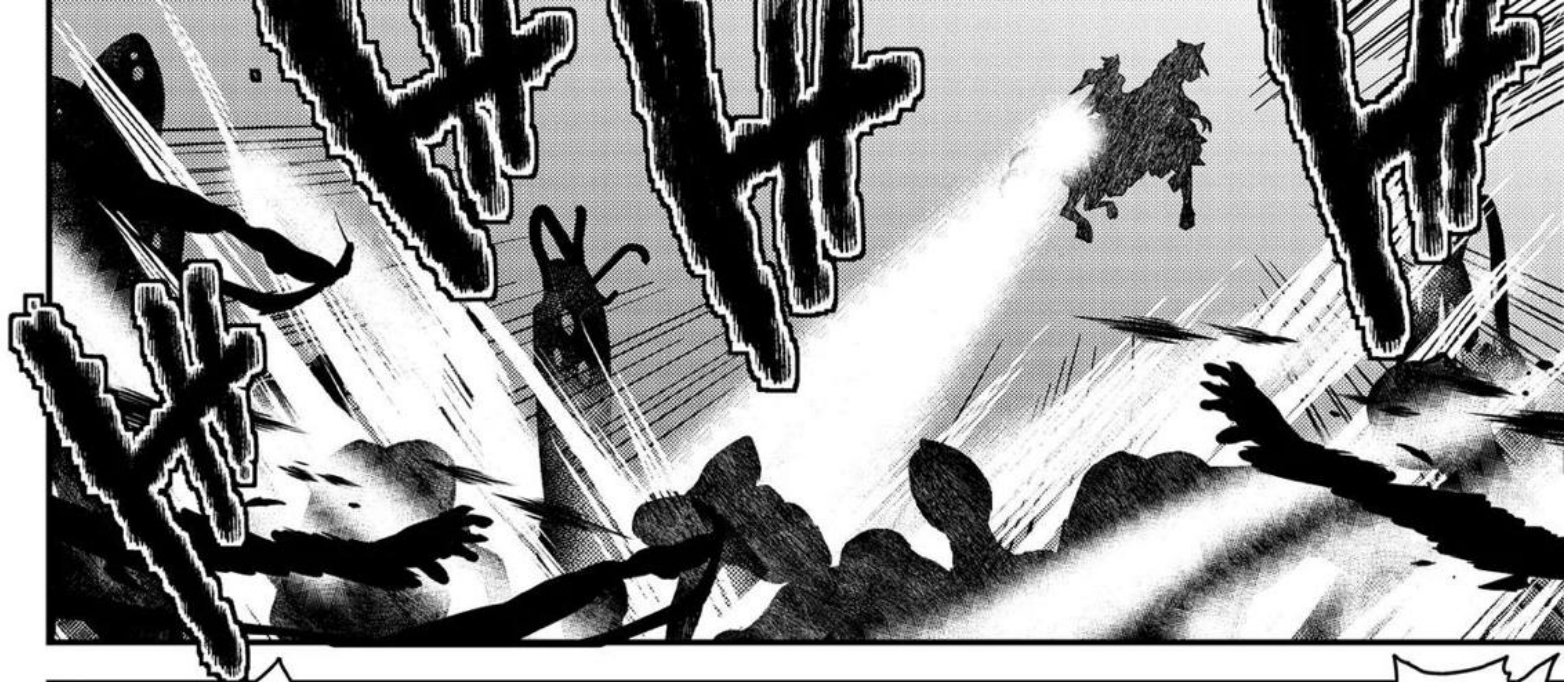
シロウは
どうか衝撃に備えて
私に抱まって下さい!

わ:
わかった!









シロウ！
アルトリア！
何を立ち止まっている！

たかが泥ごときに
立ち塞がれて
どうする！

目的は
泥の聖杯の
破壊であらう？

ここは私達に任せて
躊躇わず
先へ行け！



シロウ！

彼女達の言う通りです
ここは彼女たちに
任せて目的へ
向かいましょう

……うんっ！



……でも
これだけの数……



まだ食べて
貰いたい
料理あるから！
どうか！
死なないで！



立香！
オルタ！
帰ったらまた
皆一緒に食卓で！



さあ恩を
返しましょう！
マスター！



衛宮くんの
料理だって

ふふっ

これは絶対に
負けられないね！
オルタ



ええ…
シロウの料理は
最高ですから

帰って
最高の食卓を
堪能しましょう！



我が槍よ！
今こそ吼えろ！

喰らえ！

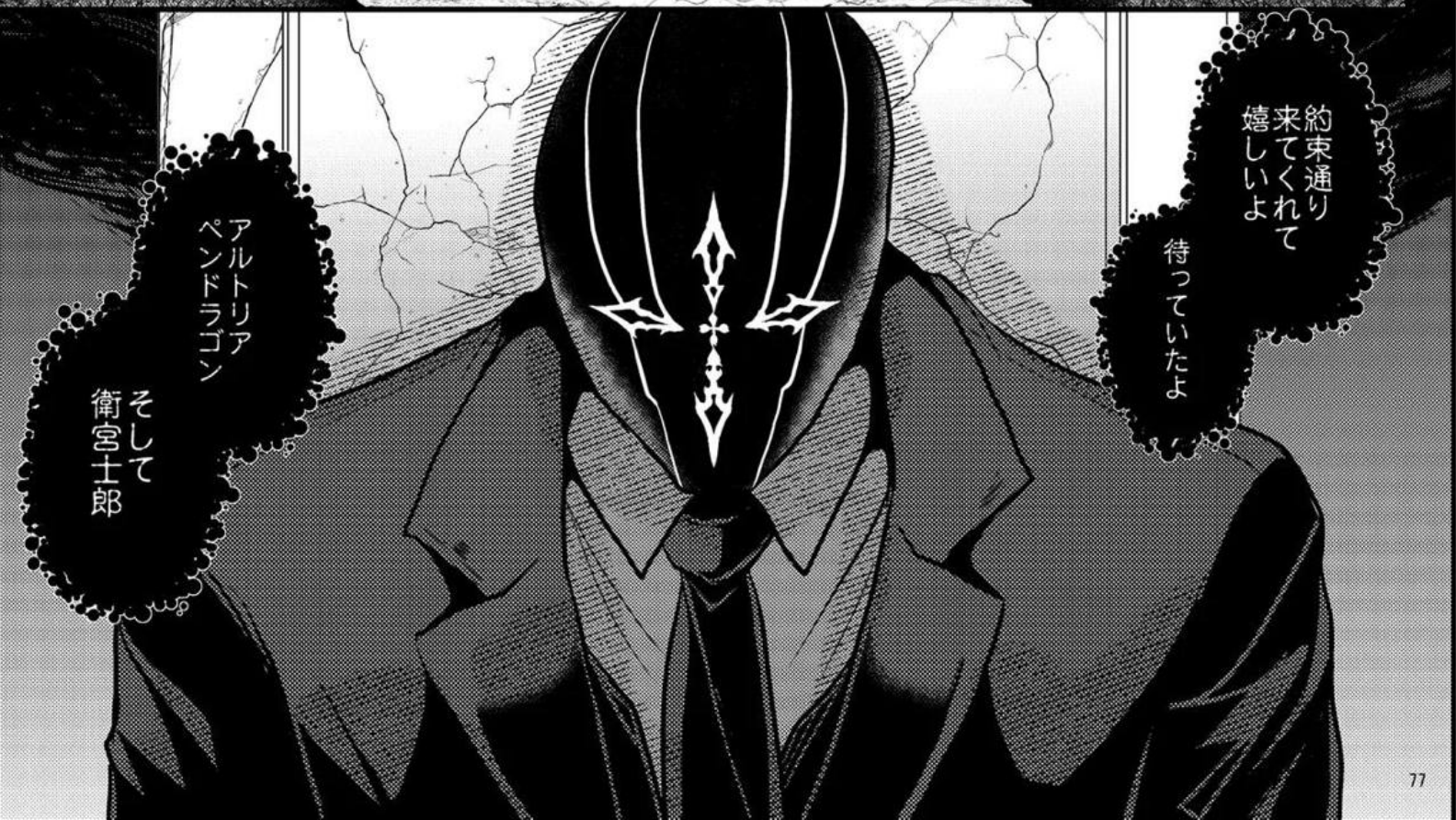
十三の牙！



最果てにて

輝ける槍ッ





約束通り
来てくれて
嬉しいよ

待っていたよ

アルトリア
ペンドラゴン

そして
衛宮士郎



この
無数の遺体……

まさか……



シロウ……
あまり周囲を見ては
いけない……

アレは……
恐らく……



キミ達が一体どうやって
ここまで辿り着くか
興味はあったが……

まさか上空から
大空洞まで
突破してくるとは
思わなかったよ



アンリマユの
犠牲になった
人々の亡骸……

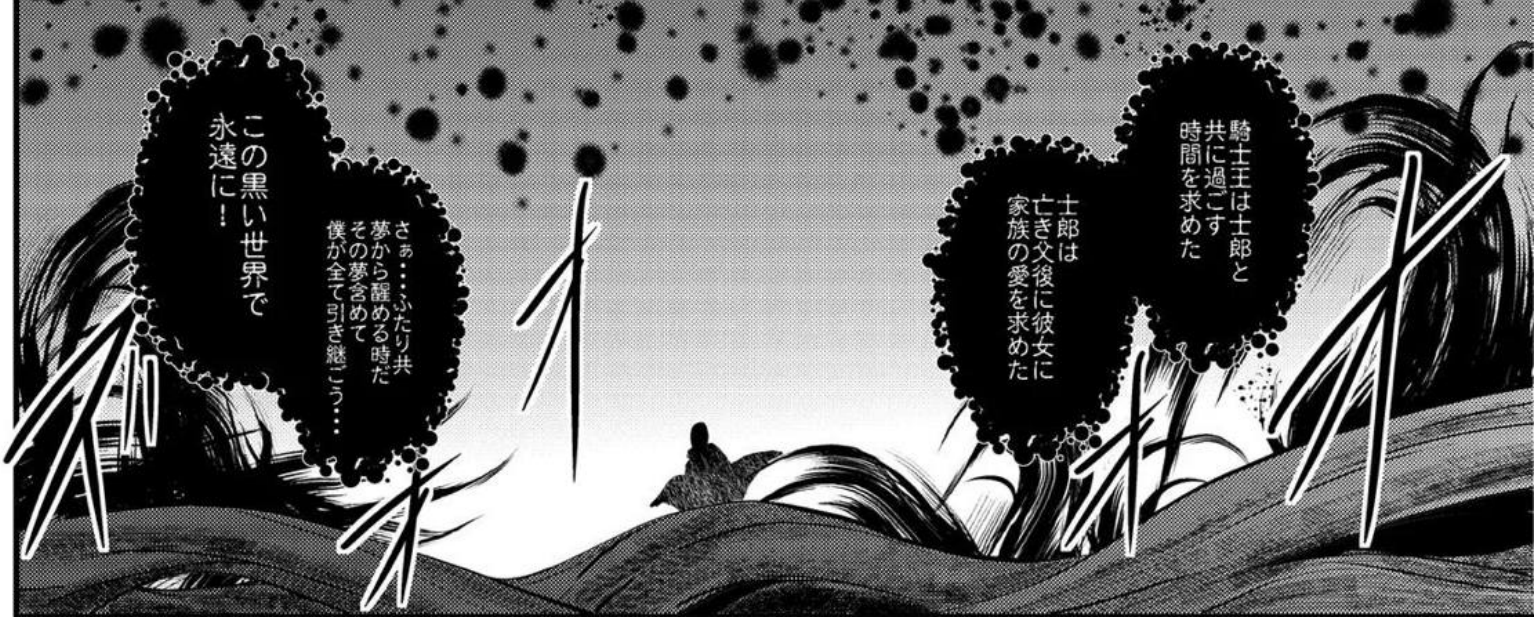


あの時の
黒聖杯の再臨か！

そうだ
切嗣の在り方を
受け継いだ

アンリマユ！

彼の祈りを
遂げるための
生贄だ



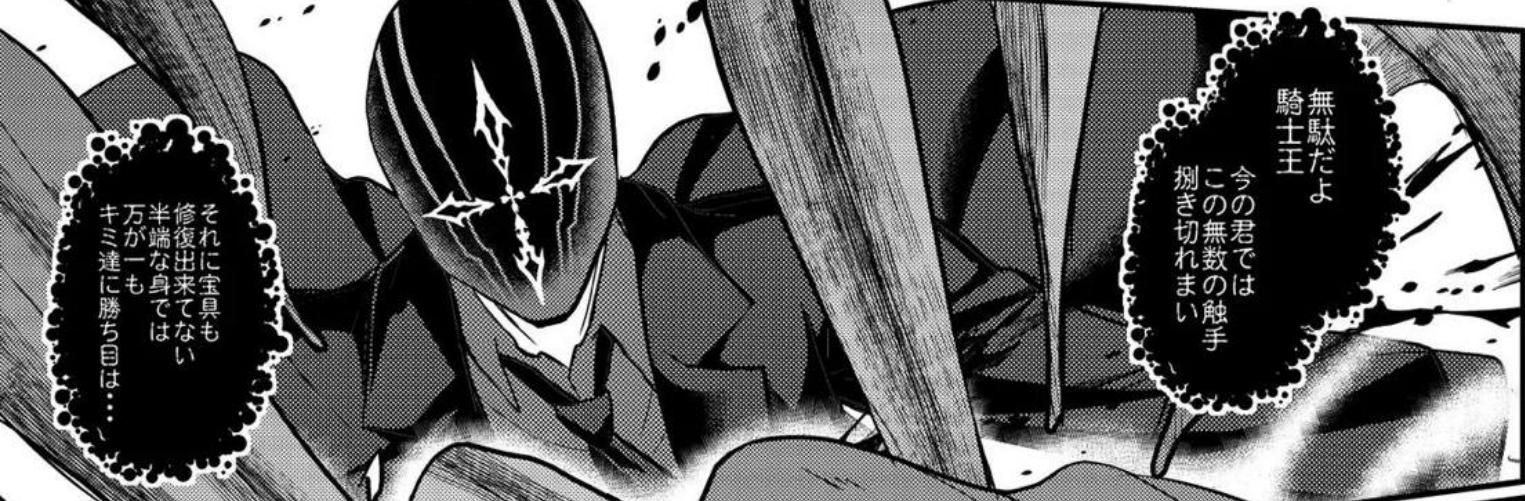


これしきの
攻撃っ！

くッ！



セイバーッ！



無駄だよ
騎士王

今の君では
この無数の触手
捌き切れまい

それに宝具も
修復出来てない
半端な身では
万が一も
キミ達に勝ち目は……



!?



違う…

あの槍は
形だけ似せた
贗作…?!

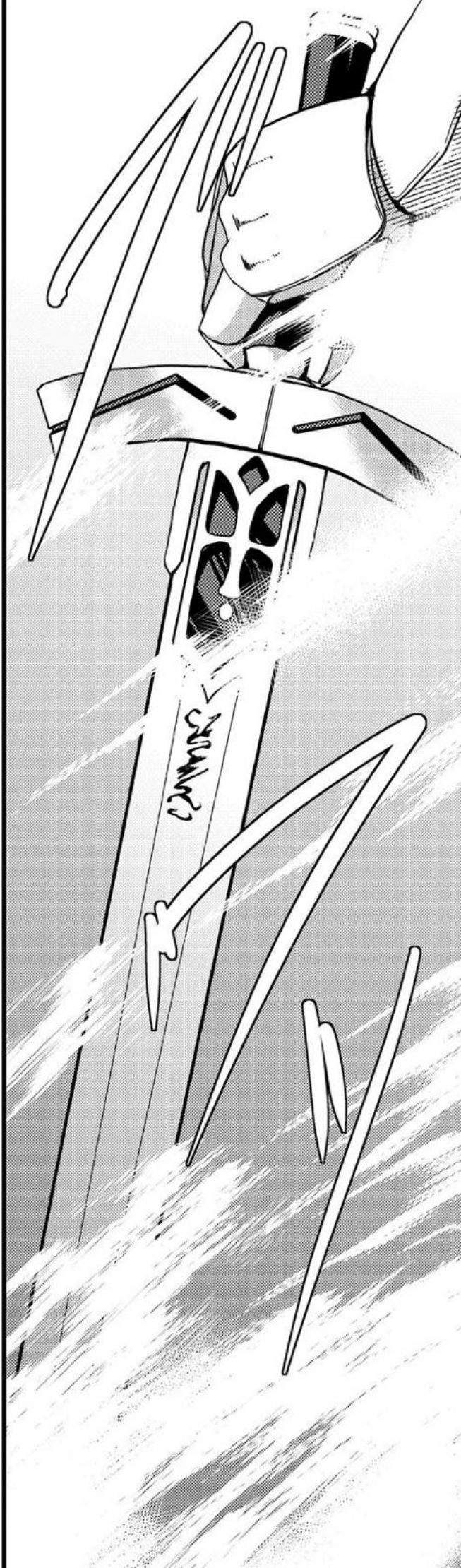


風を
纏って…

あの構えは…
まさか!?









鉄槌

エア

!!





となりの

乳王さま 終幕





まだです！
シロウっ！

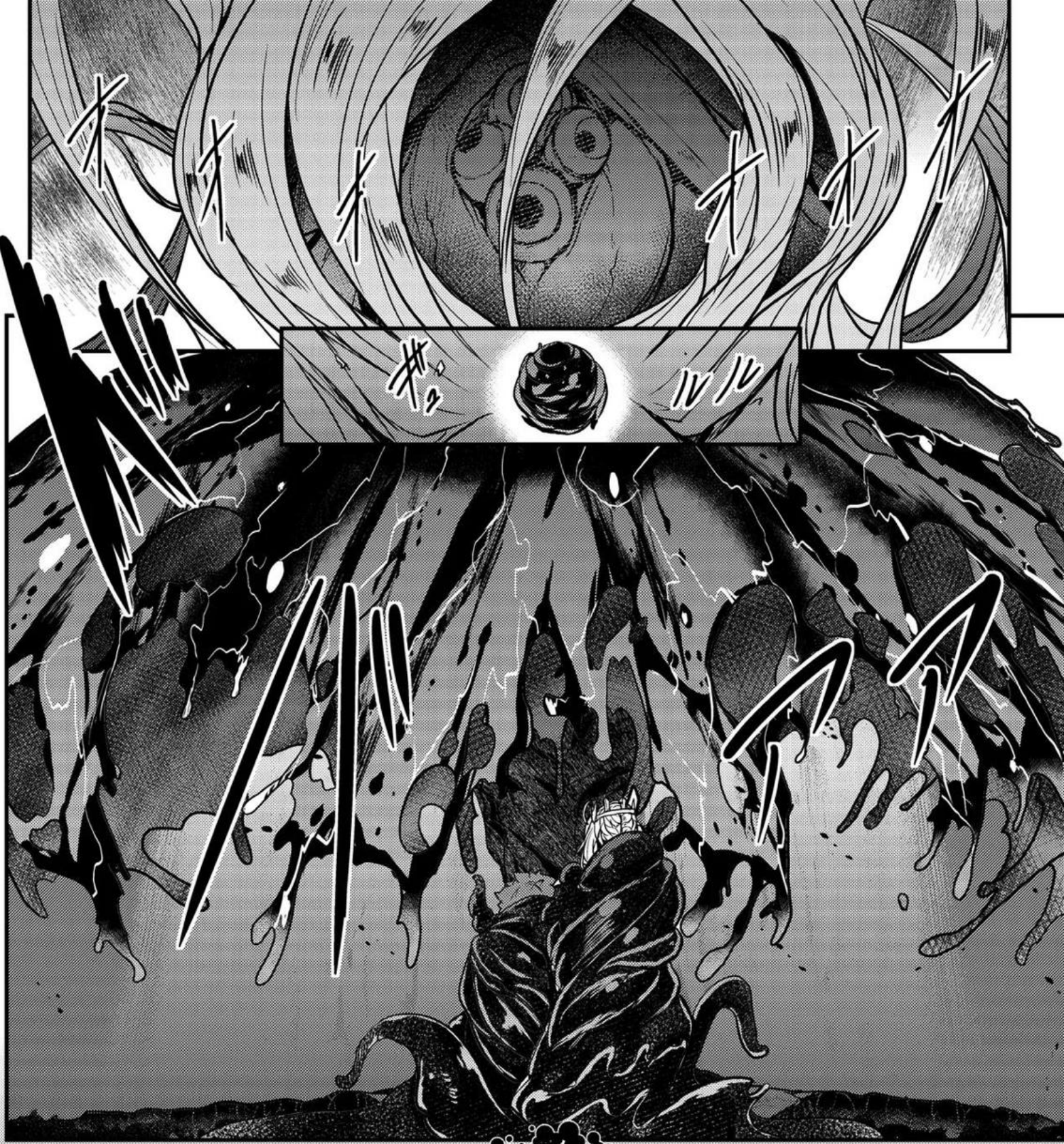
えっ…

ここは
下がって！！

下…ッ！？

!!
!?!?

!!
!?!?



さあ改めて
儀式を始めよう
黒聖杯の誕生を





余計な真似は
許さないよ…
アルトリア…

聖剣は…

肉塊の中ですが
近くに反応が…



こちらから
呼び寄せて
脱出を…



セイバー!

ぐっ!
壁から触手が!

じゅる



以前のよう
に手加減は
しない…

セイバーッ!!

にゅ
にゅ

にゅ
にゅ

士郎くん共々
我が肉体と
なってもらう!

にゅ
にゅ



俺の身体が
目的なんだろう!
ならば
俺だけを狙え!

お前達も二人で
共に朽ち果てるならば
本望じゃないのか?

ああ…そうしたいのは
重々承知なのだがね…
こちら『時間』が
ないんだよ…士郎くん

セイバーに
手を出すなっ!

アンリマユ!
お前ッ!

お前達二人でない
と駄目になったのだ!
観念したまえ



今は
機が熟するのを
待つのです…

で…でも…
このままでは
セイバーが先に！



いいえ…
まだです
シロウ…

えっ…？



くっ…
セイバー…
ゴメンっ…

「アレ」を投影する！

窮地を脱出
する方法は
他には…



アンリマユが
隙が出来た瞬間が
必ず来ます…！

だから…
最後まで
私を信じてください



この程度の凌辱…
今の私なら
耐えられます

切り札をやツに
悟られては
いけません…

セイバー…

ああ……っ！
信じるぞ
セイバー！

フハハ……
泥の汚染が
全身に巡ったか
良い……

その士郎くんの
肉体も
君の身体も魔力も

どうか
安心して欲しい

黒き奇蹟の
成就の為に
大切に使われるんだ



さあ身も心も
我が黒聖杯に溶けて
一つになるがいい！



フハハハ……っ



フハ……



だが、これで良い……
これで
僕の夢が叶う！

実に呆気ない
幕引きだったな

ぐんぐん……

多少、抵抗が
なかったのが
気掛かりだが……

ぐんぐん……

ぐんぐん……

今こそ
我が願望を……！

衛宮切嗣
世界平和の成就を！

今です！
シロウツ！

トレース・オン
——投影、開始

アヴァロン
全て遠き理想郷





グッ……!

黒聖杯を
作り出す瞬間を
狙ってたのか!

おのれッ!!



もう手段は
選ばぬ!

肉塊になろうと
構わん!

再び
お前たちを
呑み込んでくれる!



……体は

……体は剣で出来ている。

危険が迫った時
その花を
彼女と二人で
咲かせるといい

この花は
幾多の君の記憶を
見せてくれる
特別なものだ

君に秘められた
力を引き出す
その代償として

大切な記憶と夢を
忘れてしまう

それでも
これを……

……そう
迷いは
ないんだね

うん
考えるまでもないよ
何故なら……

それで大切な人を
守れる
正義の味方に
なれるのなら……

——ならば
我が生涯に
意味は不要ず

——俺は……ッ！

この体は
無限の剣で
出来ていた！

ロー
熾天覆う

アイテス
七つの円環



宝具だっ!?

その小さい身体で
一体何処から
そんな力が!



だが、その身体では
強固の
宝具で耐えられても

身体が重圧に
耐えきれず
瞬く間に
身が崩壊するぞ!



その瞬く間さえ
あれば
充分なのだから!

あああ——
ぐっ!

俺は……!
それで
構わないさ……!

12



なっ...!?





約束された

エクス



——
**勝利の剣アアア
!!**

カリバー









シロウ…
しっかりして
ください！

セイバーが
無事で良かった…

やっと…
守れた

大切な人を…

自分の力で…



シロウ！
喋らないで！

どうか安静に

この身体から
内包された剣は
一体…？

まさか…
彼の魔術による
暴走した現象…？



そりゃ
そうだよな…

俺の想像以上に
力使って
投影魔術
成功したもんな…

親父が見てたら
褒めてくれたかな…？
でも…



アヴァロン！

アヴァロンで
今すぐ治療を…ッ！

セイバー

すごい…
疲れちゃった



最後に
ドジッちゃったな...
馬鹿だよな...
俺...こんなに身体
ポロポロになって...

ごめん...



シロウ...嫌だ...

二度も...
貴方を失う
なんて...



こんなの...
わたしは...
もう見たくは...っ

シロウ...っ...

なんて無茶な...





安心してくれ…

……



もう戦わないさ…
アルトリア

なっ!?

それに…
僕の願いは
「既に」叶えられてた

君達と同じ
残酷だけど綺麗な
光景…



その「光」は
生前の僕にも
きつと
在った光だったのだろう…

ならば一体…



ポロポロの少年と
抱きかかえる
大人が涙を流す
その綺麗な光景…

親と子
血の繋がらない者
同士でも
あややつて涙し、
救おうとする姿…



そう…
あの綺麗な光景に
「光」に
僕は憧れたのだ

親と子
血の繋がらない者同士でも
あややつて涙し
救われるものなのかと…



生前の僕は
一体いつ

あの光を
忘れてしまったの
だろうか…?

これを…
受け取ってくれ

聖杯…

これから
消える者には
無用の代物さ

不完全だが
ちよっとした
奇跡は起こせるだろう…



最初で
最後の命令だ
アルトリア…

…
元・マスター
として命じる



アンリマユ…

貴方は…

残された
時間と共に

彼と
最後まで…

ああ…
そうか…
だから私は…



——ここは
…以前にも

俺の…夢の中…
なのか…?



この暖かな感触…
覚えが…

これは…

シロウ…
シロウ!



シロウ…
良かった…

目覚めましたか
シロウ

ああ…
おはよう…

~~あれ…?~~
あれ…?

俺は……
死んだの……？

いいえ、無理は
ですが、無理は
出来ない状態です

今の貴方は
万全では
ないのです

アイツとの
戦いは……皆は？

はい……戦いは
終わりました
カルデアの者達も
きつと無事でしょ

……っ
うう……

どうしましたか？
シロウ

俺……俺……

はい……

全てが終わって
また日常が
戻って来るのに

何故か
不安なんだ……

大丈夫です

シロウ
もう不安に想う事は
ないのです





この全てを包み癒やような温もり…
母の温もりにも似た暖かな光…



心も身体も…包みこまれる…
でも…この暖かさも…いつか陽が落ちるように





~~~~~が...どこか遠くへ行ってしまうのでは...



さっきから  
何故...  
大事な人の名前が  
思い出せないんだ...

今...  
思い出さないと  
いけないのに...  
こんなに苦しく  
切ないのに...  
何故...ッ!

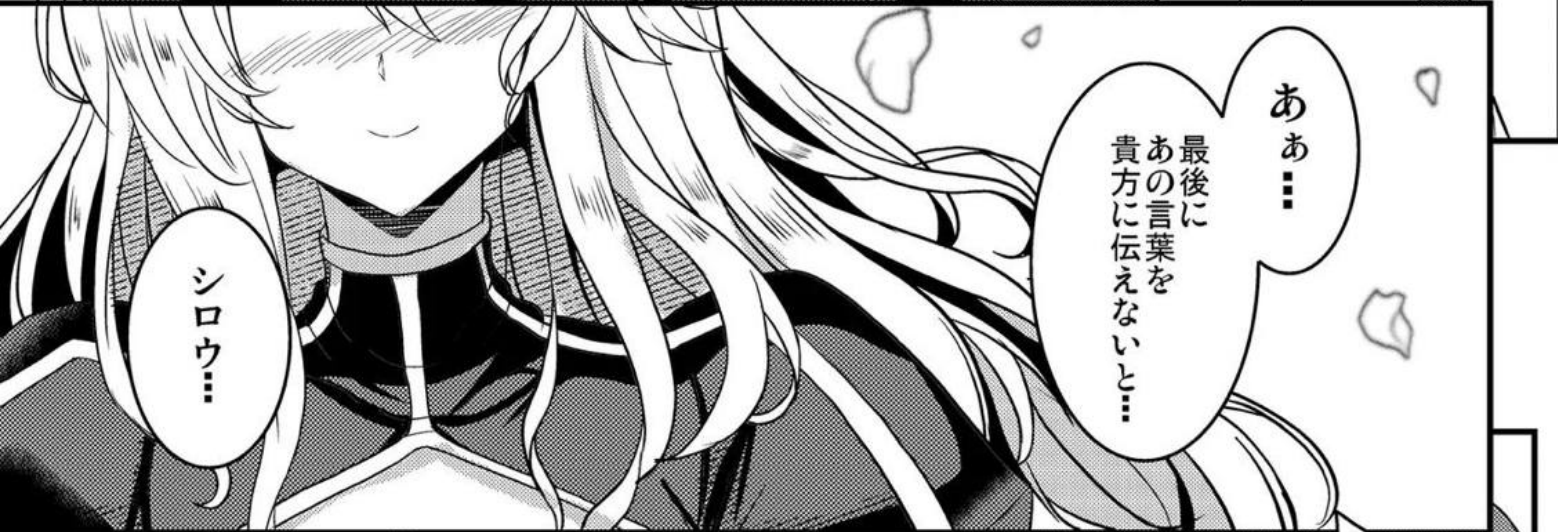


—ううっ...

つく...ッ!







シロウ…

貴方を…  
愛しています







遅かれ早かれ  
きつと冬木は  
二度目の大火災が  
起きてたと思う……



それは  
違うよ……

例え  
藤丸達が来なくても  
あの泥達が  
街中の人達を  
飲み込んでたと思うし

冬木にとって  
藤丸達は  
間違いなく  
『正義の味方』だったよ



そうか……  
うんっ……

……でも  
士郎くん  
君は  
寂しくないのかい？



名前が思い出せない  
あの人が  
いなくなっても

俺は再び  
ひとりで頑張って  
歩いていだけさ



……寂しくない  
と言えは  
嘘になるけど

俺、元々  
災害孤児だったし

親父……爺さんが  
いなくなっただけから  
一人でも頑張れるように  
努力してきたから





お……っ  
オルタ!?



だから……

!?



だが  
心配するな

想い続ければ  
再び運命が  
相まみえる時がくる



私達、英霊とは  
そういう物だ  
だから……



気負わなくてもいい  
シロウ……

今は心が空虚で  
何をやっても  
埋められないだろう

想い続けろ

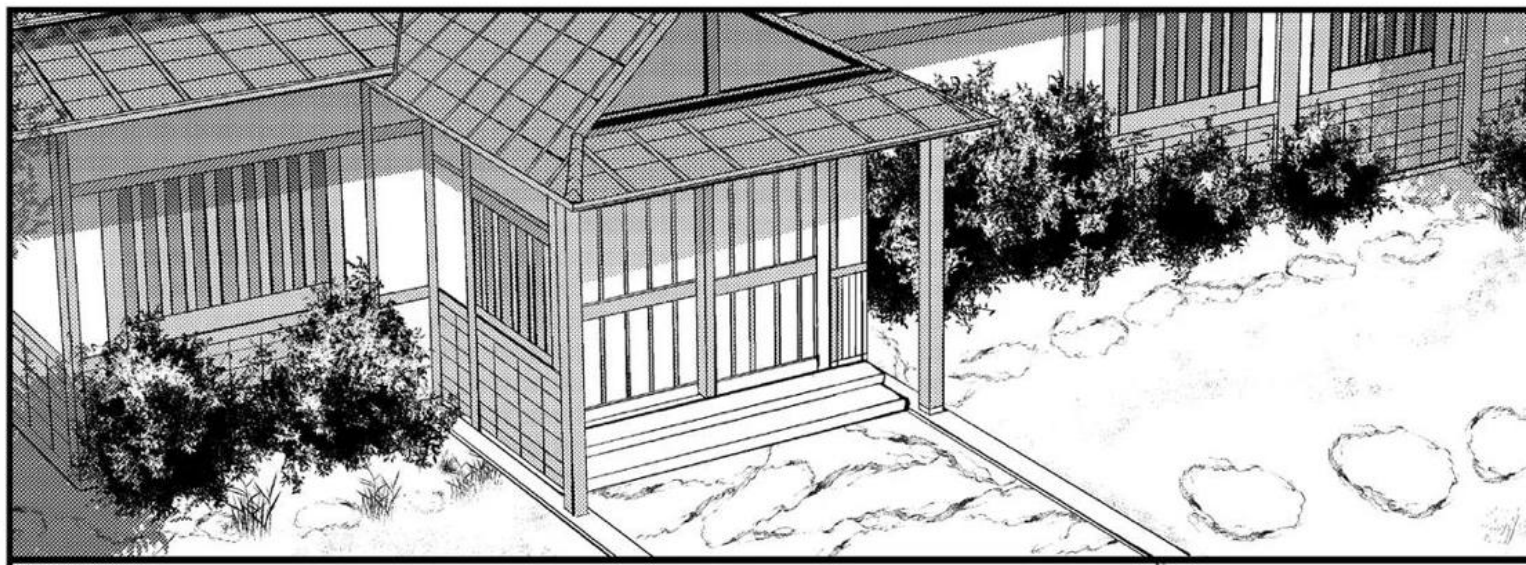
その想いは  
きつと  
かのじょ  
英霊まで届く…

じゃあね！  
士郎くん！  
これまで  
ずっとありがとうね！

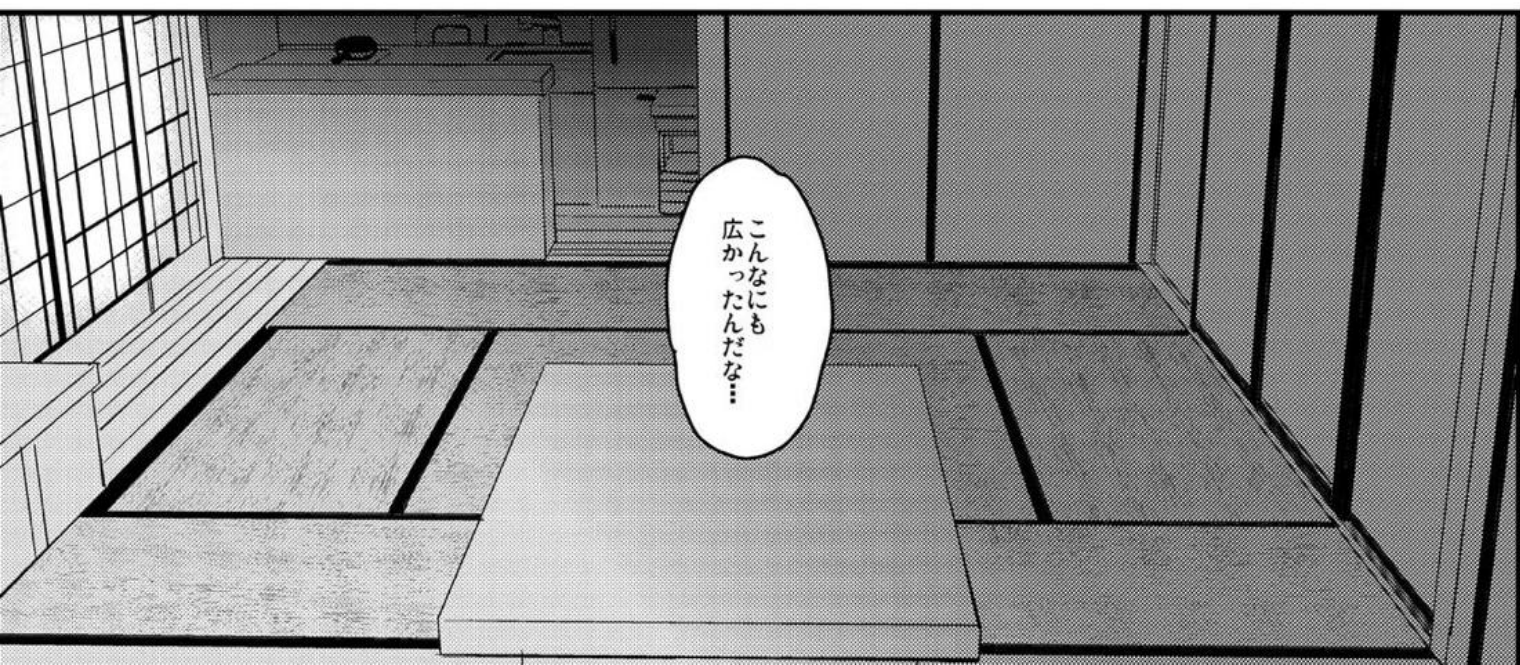
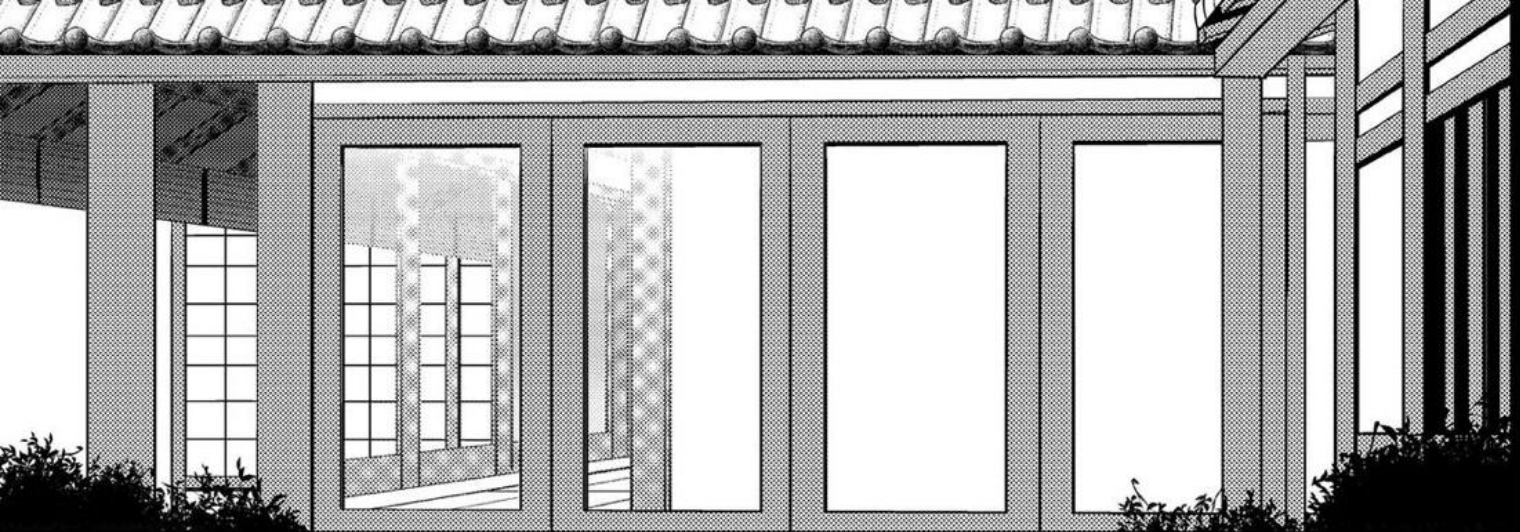
キミの家！  
まるで実家に戻った  
みたいで  
嬉しかったよ

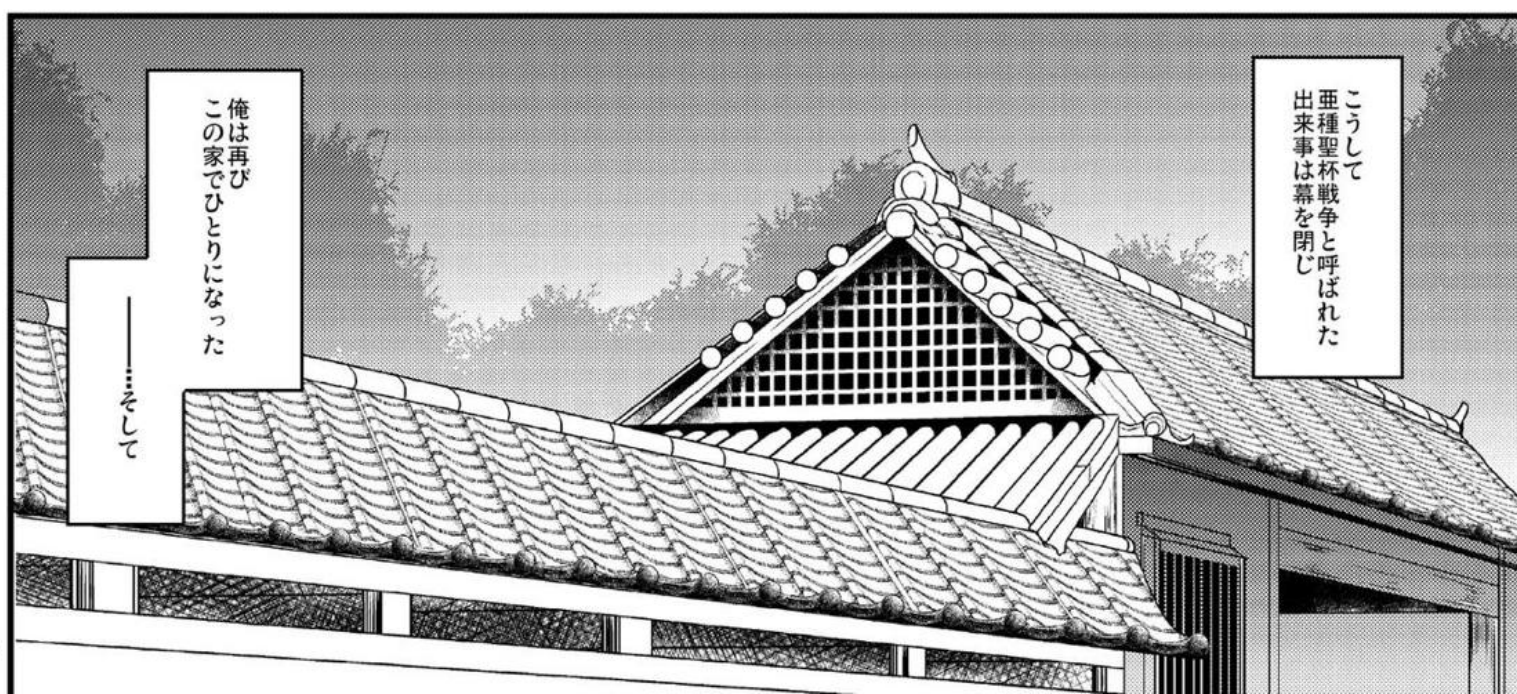
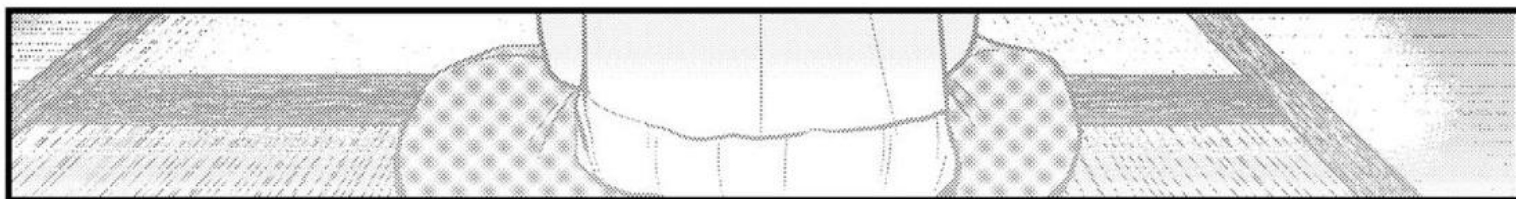
シロウ…  
貴方と共に戦えた事  
私にとって誉れでした

どうか貴方の歩む  
人生の道に  
どうか祝福を























微弱だが  
魔力を感じるな

なるほど…

若すぎるが  
お前が七人目の  
マスターだったかもな



ふざけるな…

ふざけるな……ッ！



俺は生きて  
あの人に  
逢わなければいけない



簡単には  
死ねない…！

名前を忘れた  
大切な  
あの人に！







七人目の  
サーヴァント!?









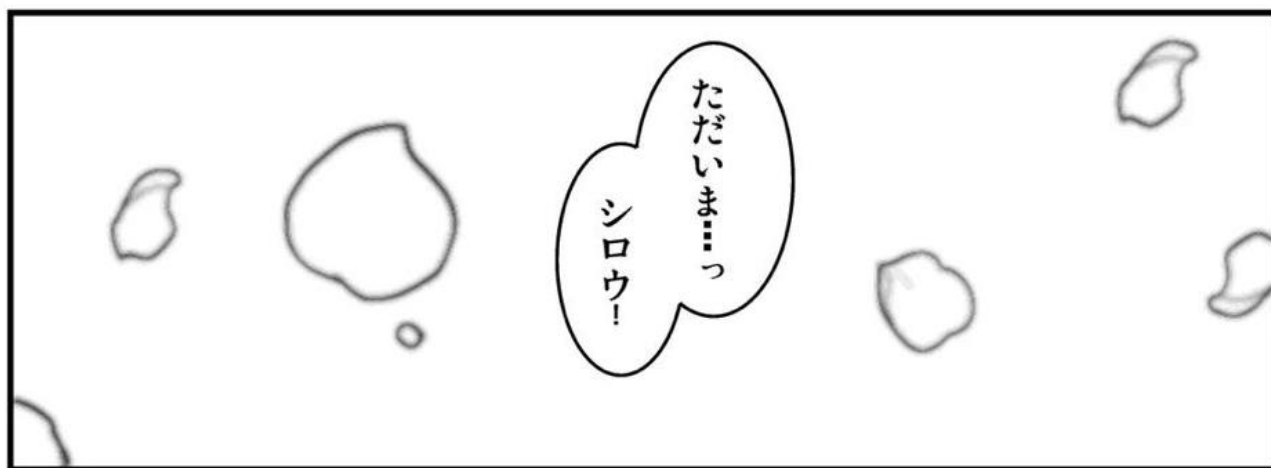
問おう





——貴方が  
私のマスターか









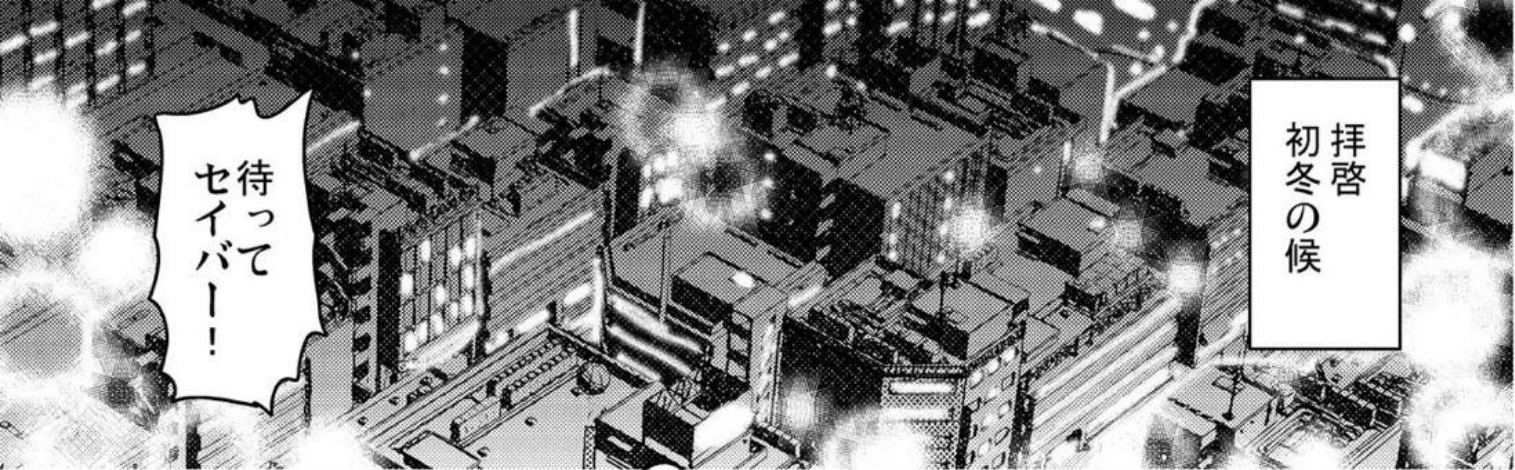
# となりの 銀河のL さん 2nd

となりのシリーズ番外編？

成人向  
R18  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

YO-METSUDO  
PRESENTS  
Fate/hollow ataraxia  
FGO Fan Book





拝啓  
初冬の候

待って  
セイバー!!



やっぱり  
ここは  
まずいよ!

INFORMATION  
REST STAY

¥3,900 (3冊) ¥7,900 (金土日祝前)

ご休憩  
月~木 ¥4,900 (5h) 月~木・祝 20:00~翌12:00  
金~日・祝 ¥6,900 (5h) 金・土・祝前 21:00~翌11:00  
サービスタイム  
月~金 6:00~22:00 レストステイ  
¥5,900 日~木・祝日 22:00~翌13:00  
土・日・祝 6:00~20:00  
¥7,900

俺と  
セイバーは

誰かに  
入ってる所  
見られたら...



ああ  
やっと...

やっと、ふたりっきりに  
なれましたね

シロウくんっ♡

今  
ラブホテルに  
います...

おにゅ♡

ぎゅ♡



透けた壁越しに見える風呂場でセックスする為の場所だとわかる



内装がリッチで華やかな雰囲気になった恋人たちの為の客室



ちよっ！  
セイバー！

落ち着いてっ！

脱ぐっ！  
自分で脱ぐから！

駄目です！  
私にとっては  
一分一秒も時間が  
惜しいのです！



シロウくんっ♡♡♡  
シロウくんっ♡♡♡

がっつき過ぎだ  
セイバー！  
しかも  
シロウくんって…

コートの中に  
こんな水着  
用意してたのか！

それに…  
その帽子！



はいっ！

私なりの  
決意の表れです

勝負下着  
もとい  
勝負キャップです！

勝負  
キャップって

どうして  
こうなった



たぶん  
きっかけは……  
タイムナル  
あの可能性の世界な  
出来事が  
あってからだ



俺とセイバーは  
アレ以降  
二人っきりになることが  
少なくなった

衛宮くん  
いる？

先輩っ！

二人っきりになった  
タイピングで  
我が家の住人達が  
呼んでくるのだ

士郎  
ここにいましたか

シロウっ！

士郎！  
お腹空いた！

こうやって  
皆がテーブル一つに  
勢揃いし賑やかに  
過ごしてくれるのは  
凄く嬉しいが

たまには何かを  
きっかけに  
セイバーと  
二人で過ごせたらと  
思うようになった



そして  
たまたま商店街で  
出会った  
キャスターから

あら？そんなの  
二人で堂々と  
デートに出かければ  
良いじゃない？

いやあ…みんなに  
悟られないように  
自然に…  
出来ればいいなと  
思ってる…

坊やは真面目なのに  
そういうところは  
不器用ね…

なら  
こういうのはどう？



真夜中の  
あるビル街に  
はぐれサーヴァントの  
目撃情報があつたの

とても小さい魔力の  
反応だったけど  
気になるから  
ふたりに  
調査して貰いたいの

そ…  
それって！

どう？これで  
「堂々」と  
二人つきりになれる  
名案でしょ？



おおお！  
キャスター  
貴女という人は！

王としてこの妙案！  
感謝します！

フフっ良いのよ  
坊やから料理を  
教わってばかりだから  
その御礼です。

もしも、あの子達が  
聞いてきたら  
私が依頼を出したって  
口裏を  
合わせますから

二人とも  
真面目ですから  
誰かが  
こういう策でも  
提案してあげないと  
テコでも  
動きませんからね

それでその  
目撃場所  
ですけど…



数日後  
依頼の日…

な…なあセイバー  
ここって…

シロウっ！  
…くんっ  
大丈夫です  
堂々と入りましょう

あっ…  
うん

そして今  
俺は…

ああ♡  
私の胸の中で  
シロウくんのおちんちん  
可愛いわ♡

発情した  
ちよっと大人の  
セイバーにパイズリ  
されてるのだった

せ…  
セイバー！  
それ…反則！

もっと楽に  
してください

今なら  
私の胸に  
どびゅどびゅ  
し放題ですよ♡

前にも増して  
えっちに積極的  
になってる！











あああ♡  
気持ち良すぎて  
声がでちゃいますっ♡

大丈夫だセイバー  
ここは  
そういう場所

いくらでも  
えっちになっても  
良いんだ  
顔もっと  
俺に見せてほしい

シロウくんっ♡

はっ♡  
ん♡  
ん♡



ああ...!!  
来る来るッ!

セイバーの為の  
二発目ッ!  
射精すぞ!

はいっ!  
シロウくんっ♡

私も一緒に  
イクっ  
絶頂っちゃうっ♡♡







ここから先は  
ふたりの  
肉欲と体力の  
続く限り...



時間が経つのも  
忘れ  
愛し合った



調査という  
御題目を掲げた事を  
良いことに

俺達は  
いけない背徳感を  
感じながら  
求め合った













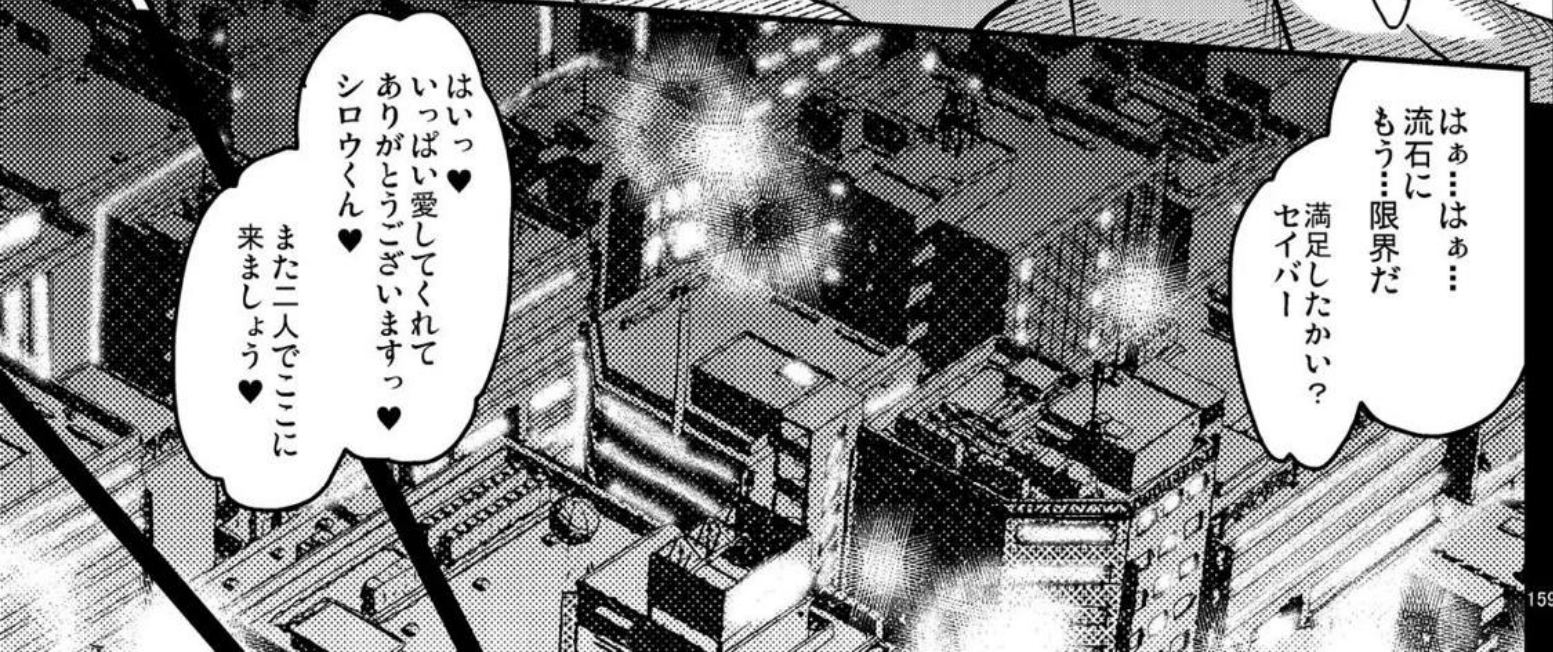
















## ■あとがき■

■どうも皆様こんにちは。ヤサカニ・アンと申します。  
となりの乳王さまメモリーズVol. 2から3年ぶりの総集編となりました。  
シリーズ通じて買って頂いた方々、誠にありがとうございます。

乳王メモリーズもvol 3まで出せて  
キャラ愛で自分が描きたかったものを描き切って  
完結まで形に出来た事、大変感慨深いものがあります。

そして、これまで旧TwitterやFANBOX  
Pixivやリアルイベント等で  
色んな方々の応援や暖かいメッセージを頂きまして  
それらが僕の創作の糧や支えになってくれました。  
本当にありがとうございます。

まだまだ拙い部分不慣れな所が多々ありますが  
商業でも次の薄い本でも形にしていきながら  
新たなお届けが出来たらなと思っておりますので  
またお付き合いして頂ければ幸いです。

それではこの本を買ってくれた  
皆様に感謝を。

今後ともよろしくお願いします。

ヤサカニ・アン



# となりの の 乳王さま *Memories Vol.3*

- 発行
- 発行: 妖滅堂
- 発行日: 初版 2026・8/16
- 著者: ヤサカニ・アン
- 印刷: サンライズ様
- 連絡先 e-mail: [yasakani3@hotmail.com](mailto:yasakani3@hotmail.com)  
Twitter: <https://x.com/yasakani>
- 18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。  
また、この中の一部、または全ての無断転載や複製  
インターネット上での  
アップロードやファイル共有等を禁止します。





『想い続ければ  
再び運命が  
相まみえる時がくる…』

シロウ…

そんな運命に  
互いを  
想い続けてきた  
俺達は

そう…  
オルタが  
残してくれた  
言葉

多くの言葉で  
想いを伝えるより

互いの秘めた熱で  
求め合う事を  
選んだ





そう…  
奇跡とも呼べる  
運命で  
再開したふたりに

多くの言葉は  
いらなかった





セイバー……  
もつと動いていい？  
逢えない間  
ずっと我慢してて

どんっ  
どうぞシロウ  
もつと  
いっばい

いっばい  
して下さるっ♡

いっばい♡

いっばい♡

ぎゅっ♡



あっ♡

シロウの  
おちんぽっ♡

きたっ♡

奥にっ♡

奥にきてるっ♡

おっきいの♡

いっばい♡

いっばい♡

いっばい♡

いっばい♡





ああ！  
すぐに射精そう！  
セイバーの膣内  
すごい熱々で  
求めてきて…

出してっ♡  
どうぞ  
私の膣内に  
出してくださーいっ♡

んはあ♡  
あゐ…♡

んあ♡  
ちっ♡

セイバーと  
会うまで  
ずっと我慢してた分

気が遠くなるほど  
セイバーの膣内に  
いっぱい射精した

それでも  
全然足りなかった  
俺達は  
求め合い続けた

あぁっ

セイバーの乳圧  
この火照った感触……  
やっぱり最高だよ

あんなに出したのに  
胸の中で  
こんなに熱く  
昂ぶって……♡

シロウのおちんちん  
更に大きくな  
りましたね♡

ふふっ  
シロウは変わらず  
私のばいずりが♡  
大好きなんですっ♡

前に契約した時も  
こうやって心込めて  
ずりずりして  
あげてましたねっ♡

あぁ……この乳内に  
包まれる感触が  
たまらなく  
好きなんだ

あぁっ  
セイバー……  
そこっ！いいっ！

こうやって  
交互にっ♡

シロウ  
気持ちいい  
ですか？♡

あぁあぁっ！  
極上だよ！  
柔らかさが！

それいいっ！





また…  
出るっ！

シロウの魔力供給っ  
こんなにいっぱいで  
胸いっぱいっ  
溢れちゃうっ ♡

うああっ  
先っぽ舐めてっ…

んっ…  
はむっ ♡

ああっ  
射精たっ！ ♡



あ…貴方は  
どうですか  
シロウ？

私…シロウの  
魔力供給  
もっと欲しいのですが…

ハア…ハア…  
凄く良かったよ…  
セイバー…

あ…  
シロウ…

当然さっ！  
まだ足りないっ！  
全然足りないよ！

シロウっ♡

あれから  
セイバーに  
伝えたい事  
届かなかった  
想いが  
あったんだ！

例え…  
この再会が  
夢物語  
だったとしても

セイバーと一緒  
居たい望みは  
これからの  
変わらない

一緒に居よう…  
セイバー

私も  
同じ気持ちですっ

これが奇跡でも  
夢でも  
構わない！

いつまでも貴方と  
一緒に歩んでいきたい…  
シロウっ

ああ…シロウ





んあぁっ♡  
シロウ…♡  
いっぱい突いてっ♡

ソクッ♡

ああぁっ♡♡♡

凄く気持ちいいですっ♡  
シロウ♡♡♡

ビクッ♡

あっ♡

あっ♡

ズン♡

何度も膣内に  
ズンズンっ♡

ズン♡

ズン♡

セイバー

俺も…  
気持ち良すぎて  
腰が止まらないッ！

はいっ  
シロウの  
おまんぽでいっぱい  
引き抜きして下さい

セイバーの  
おまんこ…  
俺のちんぽを  
咥えて吸い付いてっ！

もっとピストン  
早くするよ！

こんな激しい  
生ハメセックス  
魔力供給っ♡

いっぱい膣内の  
奥まで  
シロウの成長  
感じますっ♡

ああぁっ♡  
すごいっ♡  
ピストンっ♡♡♡





あれから少しでも  
成長出来たか  
わからないけど...

また一緒にいよう  
セイバー

セイバー...  
まだまだ未熟者な  
マスターだけど

はいっ  
シロウ♡

私もこれから  
シロウの側に  
居させていただきます

貴方と私は  
剣と鞘ですからっ♡

この身の  
全てを貴方に  
捧げますから...

だから...  
きてっ♡

私の腔内に  
シロウの精液  
マスターの証を♡

溢れるくらい  
注ぎ込んでくださいっ  
♡♡♡





FIN





### 収録作品

- 1:『となりの乳王さま・八幕』
- 2:『となりの乳王さま・九幕』
- 3:『となりの乳王さま・終幕』
- 4:『となりの銀河OLさん2nd』
- 5: 描き下ろし漫画

